

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

平成 30 年度事業分

令和 元 年 6 月作成

伯耆町教育委員会

## 目次

○はじめに .....	1
○教育委員会の活動状況 .....	2
○点検と評価の方法 .....	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート .....	10

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が平成 30 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(平成31年4月1日現在)

教育長	後 藤 弥
教育長職務代理	大 木 寿 之
委 員	羽 田 成 夫
委 員	松 岡 和 代
委 員	濱 田 真 代

○教育委員会の組織図



## ■教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	平成30年4月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動及び非常勤職員等の任命の専決処理について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	校区外就学について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		議事	教育委員会事務局職員の人事異動について
		議事	文化財の解除について
		その他	平成30年度部活動指導員の配置について
		その他	事務連絡
5月25日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		協議	平成30年度教育委員会関係補正予算の原案について
		協議	平成30年度6月定例町議会の教育委員会関係提出資料について
		その他	事務連絡
6月20日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	6月定例議会等提出案件の結果について
		報告	標準学力調査結果報告について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		報告	6月定例議会等提出案件の結果について
		その他	事務連絡
7月17日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	西部地区総体結果について
		その他	学校計画訪問感想意見まとめ
		その他	事務連絡
8月7日	臨時会	議事	平成31年度に使用する小学校(特別の教科 道徳を除く)各教科の教科書の採択について
		議事	平成31年度から使用する中学校(特別の教科 道徳を除く)各教科の教科書の採択について
8月24日	定例会	報告	教育長報告

		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	県中学総体等の結果について
		議事	特別支援教育奨励費の支給の認定について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	伯耆町営社会体育施設条例の一部改正について
		協議	平成30年度教育委員会関係補正予算(第2号)の原案について
		協議	平成29年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の執行状況の点検及び評価報告書について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		その他	全国学力・学習状況調査結果の公表について
		その他	事務連絡
9月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	校区外就学について
		協議	総合教育会議について
		その他	事務連絡
10月24日	定例会	報告	岸本公民館事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	キャリア教育の基礎知識について
		その他	事務連絡
11月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	校区外就学について
		協議	平成30年度教育委員会関係補正予算(第3号)の原案について
		その他	「鳥取県運動部活動の在り方に関する方針」(案)について
		その他	事務連絡
12月26日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	校区外就学について
		協議	伯耆町運動部活動の在り方方針(暫定版)案について
		その他	平成31年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	平成31年度当初予算編成に係る要望について(校長会)
		その他	平成30年度伯耆町教育委員会表彰(1次集約)について
		その他	委員研修

		その他	事務連絡
1月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	人権擁護委員の候補者の推薦について
		その他	平成30年度伯耆町教育委員会表彰について
		その他	委員研修(文化部活動の在り方方針(案)について)
		その他	事務連絡
2月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	校区外就学について
		議事	伯耆町総合スポーツ公園規則の一部改正について
		議事	伯耆町スポーツ推進審議会委員の任命について
		協議	平成30年度教育委員会関係補正予算(第4号)の原案について
		協議	平成31年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	平成30年度3月定例町議会の教育委員会関係提出資料について
		協議	伯耆町学校施設長寿命化計画について
		その他	平成30年度小中学校卒業式と平成31年度小中学校入学式について
		その他	平成30年度鳥取県体力・運動能力調査の結果について
		その他	西伯更生保護サポートセンターの設置について
		その他	事務連絡
3月11日	臨時会	議事	平成31年度伯耆町立小中学校の教職員の人事異動内申について
3月22日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	3月定例町議会の教育委員会関係提出案件等の結果について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について
		議事	平成31年4月1日付伯耆町教育委員会事務局関係職員の人事異動について
		議事	学校運営協議会を設置する学校の指定について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		議事	スポーツ推進委員の委嘱について
		協議	伯耆町文化部活動の在り方方針(暫定版)について
		協議	平成31年度伯耆町学校教育基本方針について
		協議	平成31年度社会教育計画について
		その他	平成3年度伯耆町教育に関する要望書の回答について
		その他	事務連絡

開催回数		14
案件数	報告件数	31
	議案件数	31
	協議件数	18
	その他件数	27
	合計	107

## 2. 教育委員会関係会議・事業等

### (1) 教育委員研修会・会議

- 市町村教育委員会研究協議会
- 中国地区教育委員会連合会研修会
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
- 西部町村教育広域連携事業推進研修会

### (2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 教職員着任式・離任式

### (3) その他

- 総合教育会議(1回)

## 平成 30 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

### □点検と評価の方法

平成 30 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員及び教育委員に意見等を求めた。

### □点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、取り組んだ事業を対象とする。

#### 1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きてゆく児童生徒の育成」

##### (1) 学校・家庭・地域の連携

###### ①家庭・PTAとの協働による望ましい生活習慣・学習環境づくり

- ・PTA活動の充実
- ・家庭教育講演会・講座
- ・「家庭教育ハンドブック」の活用促進など

###### ②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築

- ・伯耆町ネットワーク会議
- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
- ・地域学校協働本部事業（CSディレクターの配置）
- ・学校土曜授業、社会教育施設土曜事業
- ・放課後子ども教室など

##### (2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

###### ①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発

- ・「保小中一貫カリキュラム」の運用
- ・保育所、小学校、中学校の児童・生徒交流活動
- ・中学校教員の小学校への乗り入れ授業
- ・伯耆町就学支援検討会
- ・保育所職員、教職員の情報交換会、合同研修など

##### (3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

###### ①確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・各種学力調査の分析に基づく学力向上推進計画の推進
- ・夏季等学力補充教室の実施
- ・体力・運動能力調査結果に基づく体力向上計画の推進
- ・町人権教育研究大会
- ・中学校各1名、小学校1名のALTの配置
- ・栄養教諭等による食育の充実など

###### ②教職員の指導力向上のための研修の充実

- ・校内研修への外部指導者招聘
- ・町教振研究大会での悉皆研修
- ・町教委主催各種研修会の実施など

##### (4) 人にやさしい学校教育環境の整備

###### ①人にやさしい学校教育環境の整備

- ・少人数学級の実施
  - ・学習支援員と学校司書の配置
  - ・校務支援システムの活用
  - ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、早期支援コーディネーターの配置など
- ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備
- ・学校施設・設備の充実
  - ・スクールガードリーダーの配置
  - ・スクールバスの運行体制の充実
  - ・ICT環境の整備
  - ・自然災害等緊急時対応方針の共有
  - ・給食センターにおける調理業務民間委託と管理、施設改修及び設備更新など

## 2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための環境づくり」

### (1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供

#### ①生涯学習の推進

- ・公民館改修又は空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増員
- ・地域指導者の発掘
- ・成人団体の育成 など

#### ②読書活動の推進

- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・ブックスタート、ブックセカンド、ブックサード事業の実施
- ・あたまいきいき音読教室の開催など

### (2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり

#### ①生活の中にスポーツがある暮らしの支援

- ・幼児・子どものスポーツ活動の推進
- ・ジュニアクラブの活動支援
- ・スポーツクラブとの連携による健康づくりなど

#### ②いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

- ・体育施設の管理及び長寿命化工事の実施
- ・ナイター施設の集約改善
- ・スポーツ団体等の活動支援など

#### ③スポーツでつながり広がる交流・連携の推進

- ・ジュニアトライアスロンの開催支援
- ・スポーツ交流の充実・支援
- ・競技スポーツの支援など

### (3) 町全体で取り組む青少年の健全育成

#### ①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・「共育」環境づくり
- ・青少年育成伯耆町民会議等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘養成など

#### ②家庭教育の充実

- ・「家庭教育ハンドブック」の活用促進など（再掲）

- ・放課後子ども教室の設置（再掲）
- ・スクールガードリーダーの配置（再掲）
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催など

(4) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進
- ・文化センター活動の充実など

(5) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催
- ・郷土学習の支援
- ・文化財の保存・展示施設の整備
- ・情報発信、周知活動の充実など

②地域芸術文化の振興

- ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・文化施設の整備及び利用促進
- ・芸術文化活動の発表の場づくり
- ・町文化振興会などの文化芸術団体及び個人の活動支援と活動の周知など

③芸術文化活動を通じた体験・交流の推進

- ・西部圏域の市町村との交流事業の取り組み
- ・読谷村教育交流事業の実施
- ・フォトスクール、ワークショップなど

□評価方法

1. 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

2. 評価基準

「(1)評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

### (3) 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 学校・家庭・ 地域の連携	① 家庭・PTAとの協働による望ましい生活習慣・学習環境づくり	1	PTA協議会補助金	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	例年は、町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、30年度は町の予算の範囲内で開催できたことと、ほかに補助対象となる事業が実施されなかったため補助金交付は無かった。  今後も継続した支援を行うとともに、PTA活動の活発化に向けて協力をする。	△ 継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
		2	家庭教育支援事業	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	・保育所、小学校の保護者を対象にした家庭教育・子育て講演会、研修会を支援(二部保、溝口保、ふたば保、八郷小) ・子育て講演会(11/24)「自分へのエール」(長谷川理恵氏)の開催 参加者51名 ・家庭教育講演会(1/27)「今を生きる子どもたちへ伝えたい～親として 大人として地域として・・・」(熊丸みつ子氏)の開催 参加者91名  ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。 ・年二回の講演会の対象を明確に内容を精選し、特に保育所保護者には同じ話を聞いてもらえる環境を整え、保育参加日等を利用した出かける形式での講演会の工夫を図る。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		3	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について解説した「家庭教育ハンドブック」を、小学校新入学生に配布する。	・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えたHP掲載の3冊(前期編・中期編・後記編)の紹介も行い、活用を促した。 ・学年懇談、学級懇談の中で、話題として取り上げる内容に関連するページを印刷して配布した。 ・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。  ・保育所・小中学校との、「自分からすすんで学ぶ子どもを育てる」という目標を共有した一層の連携が必要で、繰り返しの活用啓発を要する。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築	4	伯耆町教育ネットワーク会議事業	生涯学習	社会の一員として自立していく児童生徒育成に向け、目指す人間像を設定し、その実現に向けた保小中一貫した共通の取組等の協議を行う。	○目指す子ども像に迫る取組の確立 ①会議 2回 ・9月26日「目指す子どもの姿に向けた取組の方向性について」 ・2月26日「重点となる取組について」「自主性・継続性につなぐ具体案について」 ②連絡会 ・補助的に学校運営協議会担当委員研修会を実施し、中学校区のNW会議代表者を選出し、取組の内容や様子、課題等の共通理解を図れる体制を整えた。今後は、中学校区NW会議の開催につなげる。  ・コミュニティ・スクールの周知が十分でないため、地域住民にも「目指す子ども像」を共有した取組を目指すことが必要→重点となる取組として、「あいさつ」の取組の推進	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	

計画分類		主な事務事業				評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要		主な成果等
							主な課題・改善方針・今後の展開等
1-(1) 学校・家庭・ 地域の連携 (つづき)	② 地域全体で 子どもを育 み、地域が学 校を支える仕 組み構築(つ づき)	5	学校運営協議会 運営事業	総務 学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。 平成30年度は、各学校運営協議会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。	岸本中・二部小をコミュニティ・スクールに指定し、町内全小中学校の指定を完了した。これに伴い、CSディレクター1名を配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業との連携・調整・情報共有などに取り組む伯耆町ネットワーク会議を立ち上げ、全町的かつ一体的に「地域とともにある学校づくり」を推進する体制を整備した。 「地域とともにある学校づくり」の考えが子どもの有無に関係なく浸透するような、町全体への周知・啓発に努め、地域住民の参画を拡大する。また、保護者や地域住民の声を一層学校経営に反映させ、子どもの豊かな育ちの創造に努める。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		6	地域学校協働本 部事業	生涯 学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子供たちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいつくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	①支援実績 ・学習支援 302件 ・環境整備 27件 ・学校行事 22件 ・児童生徒による地域貢献活動 34件 ②会議 ・地域学校協働活動実行委員会3回 ・コーディネーター定例会 10回 ③研修 ・8月24日 県学校支援ボランティア研修会 ・11月8日 県コミュニティスクール推進研修会兼学校支援ボランティア研修会 ・11月16日 地域とともにある学校づくり推進フォーラム(香川大会) ・3月7日、8日 地域教育力を高めるボランティアセミナー(東京) ④地域とともにある学校づくりフォーラム(学校支援活動成果報告・交流会2月3日) ・持続可能なボランティア支援体制の開拓、コミュニティ・スクールとの連携・協働 ・学校支援コーディネーターと学校教職員との協働による故郷を愛する子供育成に向けた人材、教育活動の開発	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		7	子供の体験活動 事業	岸本 公民館  溝口 公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。 事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。 ・夏休み公民館教室協力事業は、10回の開催で延べ107名の参加、岸本公民館主催及び連携事業では、巣箱作り、お弁当クッキング、県の施設見学など、8回の開催で延べ136名の参加があった。8回のうち4回は新規(手話、ふるさと史跡めぐり、ぐるぐるアート、子ども書道教室) ・土曜日のお楽しみでは、4回の開催で延べ65名の参加があった。 ・先着のため申込開始日に電話が殺到し受付に支障を生じるため、申込、受付方法を見直す必要がある。 ・八郷小学校児童も参加しやすいように、八郷小学校を会場とした子ども体験事業を開催してほしいとの要望があり、実施に向け検討する。 ・学校・地域・公民館教室等と連携し、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々に協力していただき、世代間交流の推進を一層促進した。夏季休業中に16事業、冬季休業中に3事業、中学生ボランティアの協力を得て、土曜事業として親子料理教室等4事業開催し、延べ392名(前年372名)の親子・子供及び中学生ボランティアたちが有意義なひと時を過ごした。また、夏休み・冬休み・土曜事業とは、別に、成人講座に子どもたちを含めた事業を行った。 ・子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしなが、子どもたちに体験をしてもらいたい日本の伝統的文化等は継続発展させて取り組んでいきたい。夏休み期間中であつても学校行事等もあるため、事業日程については、学校行事等と重複しないよう調整しており、子どもたちが参加しやすい事業日程に配慮する。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業				評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要		主な成果等	
							主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 学校・家庭・ 地域の連携 (つづき)	② 地域全体で 子どもを育 み、地域が学 校を支える仕 組み構築(つ づき)		子供の体験活動 事業(つづき)	二部 公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域・公民館教室が連携し、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。また、森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力を得て事業を開催し、大いに交流を図ることができた。</li> <li>・夏休みの事業で4館合同の事業を実施し、全小学校からの参加により、大いに交流を図ることができた。</li> <li>・米子高専の講座を活用し、普段小学校で体験できない講座を夏休み事業として実施。実施回数:14回 延べ参加人員:503名</li> <li>・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進していきたい。</li> <li>・4館合同の事業を継続していき、子供たちの交流を図りたい。</li> <li>・米子高専など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設していきたい。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子ども達の協調性や社会性の醸成を図ることができた。土曜日のお楽しみでは5名、夏休みのお楽しみ事業等では、2事業、37名の参加があり、特に溝口小学生の「冬みつけ」(参加者57名)では日光の大自然を体験してもらえたと感じた。</li> <li>・日光地区協議会の主催事業である大山日光清流まつり(参加者約200名)を開催し、ヤマメのつかみ取りなどの自然体験や地区住民の交流と合わせて、義方校区の親子との交流を深めた。</li> <li>・地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに参加者が増えるような取組を検討をしていきたい。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		8	子供の体験活動 事業	総務 学事	各学校で独自の取組を行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な活動 ○作物・米・花の栽培 ○職場体験 ○遠足、大山登山の協力 ○スキー教室など</li> <li>・体験活動としては定着してきているが、児童生徒の実態をふまえ、体験を通してどのような資質・能力を養うのかについて再検討していく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		9	放課後子供教室	生涯 学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施状況 ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・金) 91回実施 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 90回実施</li> <li>主な活動 ・体力づくり、学習、読み聞かせ、実験等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 ・一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫</li> <li>・安全面への一層の配慮、 ・指導する人材の確保の難しさ(地域学校協働活動実行委員会での情報共有による状況把握と改善の方向性の協議等) ・多様な子どもを理解した上での運営(学校との連携・協働)</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
10	伯耆町教育振興 会事業	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼保・学校教育の研究推進や地域の	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みのおたのしみ事業や土曜授業への参加、八郷地区現地視察研修、地域とともにある学校づくりフォーラムや地域学校協働活動、コミュニティスクールに関する研修会等を開催し、地域学校協働活動の共通理解と着実な推進を図った。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
			・地域教育		、町の初等・中等教育の研充推進、地域の教育力向上を図る。	学校支援コーディネータとの意見交換・情報交換を行い、「HK30プラン」セカンドステージのの充実に向けた具体的取組を検討する。	ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発	11	伯耆町教育振興事業 ・保小中一貫教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部会、小中情報交換会を開催し、各校の状況の共有・共通実践項目のチェックや今後の取り組みの確認を行った。</li> <li>また、授業研究会への相互参加による授業改善や保・小、小・中の交流を進め連携強化を図った。</li> <li>・部会の中で活動の内容についての話し合いはできた。今後は、共通実践項目や目指す人間像といった理念に基づいて、具体的な取組を進めていく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		12	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	総務学事	小中一貫教育カリキュラムを活かした授業づくりのスキルを高めるよう、各中学校区で全教職員を対象にした授業研修会等を開催し、授業改善の共通認識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘し、学校評価研修、小中一貫授業力向上研修会、小中合同授業研究会を開催し、教職員の授業力向上及び『保小中一貫カリキュラム』を活用した授業づくりのスキルを高めた</li> <li>・取り組みをより有効なものにするため、HK30プランに基づき設置した伯耆町ネットワーク会議で関係組織・地域等との連携・協働体制を拡充する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		13	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	総務学事	中学校区での保・小・中が校種の枠を超えてスクラムを組み、一貫性のある教育や各種取り組みを行うことで、学力向上・不登校防止・職員間の情報共有等に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中交流会、保・小交流会、授業体験交流、合同研究会等の実施による連携強化、中一ギャップの解消、教員間の情報共有等を図った。また、スクラム教育に関するまとめ冊子を完成・発行し、今後の指針を示した。</li> <li>岸本中学校区 小中交流会3回 保小交流会11回</li> <li>溝口中学校区 小中交流会2回 保小交流会14回</li> <li>・学力・体力向上や不登校防止など、成果を見極めて内容を精選し、課題に応じた取組を進めていく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		14	中学校教員の小学校への乗入授業	総務学事	小中の職員が互いに乗り入れて学習指導することで、中一ギャップへの対応、専門性を生かした授業内容の充実や学習意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数、音楽について、溝口中学校から二部小学校・溝口小学校へ乗り入れ授業を行い、より専門的な指導力を生かした授業実践につながった。</li> <li>・教職員の配置により、乗り入れ授業の実施の可否が決まるので、必ずしもそれぞれの学校の課題に応じた配置や計画になりにくい面がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		15	就学支援検討会	総務学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適應などの2次障害を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握を行ったうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談等を経て就学支援検討を行った。</li> <li>※保→小22件、小→中16件の事案について対応・支援</li> <li>・観察記録シートを改善し、視点を細分化した必要な支援に関する協議の充実が図れた。</li> <li>・支援の必要な子どもの多面的状況把握のための関係機関の連携に努め、本人・保護者の思いに寄り添った適切な就学支援につなげる。</li> <li>・保小接続では支援引継シートで必要な情報や効果的支援が確実に伝わるよう工夫。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		16	伯耆町教育振興会事業 ・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局等及び関係機関で組織を構成し、就学支援教育充実のための連携推進や小中の小中の特別支援学級の交流活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育における教材教具の工夫や個別的教育支援計画に関する研修会、特別支援学級交流会を開催し、指導・支援に関し教員の知識・技能向上だけでなく、児童生徒の持つ力を最大限に伸ばす支援の在り方についてのスキルを高めた。</li> <li>特別支援教育に関する学びを学校全体の取り組みにどのように浸透させていくか検討し、必要感ある情報共有や交流活動につなぐ。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発(つづき)	17	中学校区の児童生徒を語る会	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区ごとに、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。</li> <li>岸本中校区:各学期2回、溝口中校区:各学期1回</li> <li>・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	18	学力向上推進計画策定と進捗管理	総務学事	全国学力・学習状況調査及び標準学力調査(年2回)の結果をもとに、各学校毎に児童生徒の学力向上に向けた取り組みを計画的に実施すると共に、継続的な計画の取り組みによって、的確な指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査及び標準学力調査の結果をもとに、各学校毎に学力向上に向けた取組を計画を実施した。また、年度末には、各学校が次年度の学力向上計画を作成し、これらをもとに町としても学力向上推進計画を作成することができた。</li> <li>・計画訪問、授業研究会等で、随時各学校の取組状況を確認しながら、指導助言にあたるようにする。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		19	標準学力調査及び分析の実施	総務学事	標準学力調査を年2回実施。学力定着状況の把握・分析により、児童生徒の課題の改善に向けた教育と教育施策の成果と課題を検証する。また、教育指導の改善、学力向上推進計画のPDCAを継続的に進める体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校教務主任と連携し、各学校が標準学力調査の結果を詳細に分析した上で、各校の取組を共有し、児童生徒の課題の改善に向けた取組につなげることができた。</li> <li>・計画訪問、授業研究会等で、児童生徒の課題を明確にししながら、各学校の取組に対し、指導助言にあたるようにする。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		20	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業	総務学事	各学校毎に、学習状況に課題のある児童・生徒を対象にした学力補充教室を開催するに当たり、指導補助員を配置し、よりきめ細やかな指導体制を整備することで、児童生徒の学力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校で夏季休業中に学力補充教室を開催し、外部指導者や中学生ボランティアの協力も得ながら個々の児童生徒の学習状況に応じたきめ細やかな学習指導・支援を行うことで、学力向上を図った。</li> <li>・教職員の部活動・出張等との兼ね合いで、回数・日程調整に苦慮する面があり、取り組みに関する工夫が必要。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		21	体力向上計画策定と進捗管理	総務学事	全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果をもとに、各学校毎に体力向上計画を策定し、体力向上等に対する的確な指導体制を確立することで、児童生徒の健康増進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果をもとに、各学校毎に体力向上計画を策定し、課題に応じた体力向上の取組を計画することができた。</li> <li>・課題となる種目があり、今後も経年で系統的に実態を把握しながら取組を継続する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		22	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町人権教育研究大会、地区進出学習会・文化センターでの現地学習等を開催するほか、町人権同和問題実践研究・ひまわりセミナー・だんだんまつり等に参加し、教員の知識・技能の向上など人権教育の一層の充実を図った。</li> <li>・文化センター、学習会に関する授業の方向性について検討を継続する必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		23	小学校外国語教育推進事業	総務学事	令和2年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、導入される小学校での外国語教育の円滑な移行に向けて、町内4小学校を受け持つALT1名を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30年度は、プロポーザル審査により、㈱インタラクに外部委託を行い、ALT1名を配置し、授業の中で不慣れな担任の指導力を補い、早い段階から英語に触れる機会を提供した。</li> <li>R元年度は、JETのALTを配置し、交付税措置のある事業に変更する。ただし、英語圏のALTは、年度初めの4月からの配置はなく、2学期からの配置となるため、1学期間は、臨時職員を配置する。</li> </ul>	◎ 新規事業目標達成90%以上
		24	外国青年招致事業	総務学事	岸本中学校と溝口中中学校にALTを1名ずつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校にALTを配置して英語活動を支援するとともに、中学校区の小学校にも定期的に派遣し、国際理解教育を支援した。また、公民館の英会話教室での講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。</li> <li>・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進(つづき)	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育(つづき)	25	栄養教諭による食指導	給食センター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。また、各学校と連携を図り、生産者やセンター職員と児童との交流給食を実施し、生産者との交流、食材に対する感謝の気持ちが育まれた。食育の日や給食週間を中心に交流給食を年5回実施(岸本小以外はインフルエンザの流行等により中止)。</li> <li>・栄養教諭・学校栄養職員が学校に出かける日数を増やすことは難しいため、内容を更に充実したものにしていける。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		26	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関が連携し、幼児・児童・生徒の健康保持・増進、体位向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度は「食育の推進と生活習慣改善への取り組み」を重点目標として、朝食調べ、学校における感染症の取扱い、学校給食食物アレルギー対応などについて情報交換、検討を行い、改善策の提案を行った。</li> <li>・朝食調べを継続するとともに、各保育所・学校での生活習慣改善の取り組みを調査する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		27	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動部活動推進事業(県事業)を活用し、岸本中学校でバスケットボール部、溝口中学校で剣道部の外部指導者派遣を行い、専門的指導等を実施した。</li> <li>・引き続き、県事業を活用し、専門的指導が必要な部活動に外部指導者を派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上等に努める。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		28	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岸本小5名、八郷小2名、二部小5名、溝口小1名の推薦を受けて配置した。各自の専門的な知識や技能を活かし、授業の充実が見られた。</li> <li>・引き続き、各学校の実態に応じ、専門的な知識技能を有する者を特別非常勤講師として配置し、授業の充実を図る。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		29	青雲寮管理運営事業	生涯学習	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溝口小学校が学校の事業として、「立志キャンプ」を実施、教育委員会では、通学合宿事業の場として活用するほか、スポーツ少年団・中学校部活動等の合宿施設として貸し出しを行った。</li> <li>・今後は、溝口中学校の老朽化した調理実習室の移設先として、施設の複合的利用の可能性を検討する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
	② 教職員の指導力向上のための研修の充実	30	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会	総務学事	各学校の授業研究会へ外部講師を招聘し、授業の質的な向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校授業研究会のほか、本事業で外部講師による授業研究会等を岸本小学校3回、溝口小学校1回、岸本中学校1回、溝口中学校1回、溝口中学校区合同研究会1回を開催した。</li> <li>・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		31	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会(NO12事業の再掲)	総務学事	小中一貫教育カリキュラムを活かした授業づくりのスキルを高めるよう、各中学校区で全教職員を対象にした授業研修会等を開催し、授業改善の共通認識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘し、学校評価研修、小中一貫授業力向上研修会を開催し、教職員の授業力向上及び『保小中一貫カリキュラム』を活用した授業づくりのスキルを高めた。</li> <li>・取り組みをより有効なものにするため、HK30プランに基づき関係組織・地域等との連携・協働体制を拡充する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ き)	② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ き)	32	伯耆町教育振興 会事業 ・研究大会	総務 学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の 資質向上を図るため、本町独自の研修を実施 する。	・30年度は、町内保・小・中の全教職員等を対象に、「発達障害と不登校の医学的支 援」を演題とする講演会(講師:山陰労災病院 院長 大野耕策先生)を開催し、近年増 加傾向にある発達障害の児童生徒への対応について、学ぶ機会を設けた。 ・今後のニーズや社会情勢に対応した研修等を開催し、教職員の知識・技能の向上を 図る。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		33	伯耆町教育振興 会事業 ・授業研究会	総務 学事	授業研究会を開催することで、個々の教職員の 資質・能力を高めるとともに、教職員の協働性 を高め学校力の向上・充実を図る。	岸本小1回 八郷小1回 岸本中2回 岸本中学校区合同1回 溝口小3回 二部小2回 溝口中2回 溝口中学校区合同1回 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、 取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		34	伯耆町教育振興 会事業 ・生活指導	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出 先機関で連携し、児童・生徒が規律正しく、楽し く安全な学校生活を送られるよう指導を行う。	生徒指導担当者会2回、研修会1回等を開催した。 ・第1回生徒指導担当者会 情報交換、夏休みのくらしについて、夏休み中の児童生徒向け放送 ・第2回生徒指導担当者会 情報交換、冬休みのくらしについて、冬休み中の児童生徒向け放送 ・第2回専門部会 いじめ等の予防と対処の仕方について(いじめ・不登校対策センター一定常氏) ・児童・生徒のメディア利用の実態とトラブルの回避について各学校での対応を検討し ていく必要がある	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		35	伯耆町教育振興 会事業 ・人権教育 (No22事業の再 掲)	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出 先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置し て、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の 教育力向上を図る。	・町人権教育研究大会、地区進出学習会・文化センターでの現地学習等を開催するほ か、町人権同和問題実践研究・ひまわりセミナー・だんだんまつり等に参加し、教員の 知識・技能の向上など人権教育の一層の充実を図った。 ・文化センター、学習会に関する授業の方向性について検討を継続する必要がある。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		36	学校要請訪問、学 校随時訪問	総務 学事	各学校の校内授業研究会での指導助言や 授業参観・授業評価及び学校長への指導助言 を目的として学校訪問を実施する。	・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見取ると ともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の中で、各学 校の研究推進への助言を行うことができた。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、 取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		37	学校計画訪問、行 事訪問、講師訪 問、本務者訪問	総務 学事	各学校の運営状況及び授業実践の把握を行う ため、各種訪問を行い、各校の課題改善に努 める。	・学校計画訪問 各小中学校1回 ・行事訪問(各行事参観、各式典参列) ・講師訪問、本務者訪問 各学校1回 ・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。 ・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改善を促 していく必要がある。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 人にやさしい 学校教育環境 の整備	① 人にやさしい 学校教育環境 の整備	38	少人数学級実施 事業	総務 学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸本中 3学年:2学級⇒3学級 定員2名増</li> <li>溝口中 2学年:1学級⇒2学級、3学年:1学級⇒2学級 定員2名増</li> <li>二部小 3・4年複式⇒3学年及び4学年単式学級 定員1名増</li> <li>上記により、きめ細やかな学習指導、一人ひとりの変化への気づきによる速やかな生徒指導の両面で教育効果をあげている。このほか、学校からは、不登校等の諸問題についても、有用性が認められると報告されている。</li> <li>今後は、小学校において増加が想定される複式学級への対応を検討する必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		39	スクールソーシャル ワーカー活用事 業	総務 学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SSW3人配置(うち1名SV)し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。</li> <li>ケース会議数 教職員: 25 関係機関含: 36</li> <li>引き続き、SSWを中心に、教職員や関係機関の情報をもとに、児童生徒を取り巻く課題解決の糸口を探り、対応にあたる。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		40	スクールカウンセ ラーとの連携	総務 学事	本町のスクールソーシャルワーカー、早期支援コーディネーター等と県教委雇用のスクールカウンセラーが連携することで、児童生徒の抱える課題解決に向けた支援体制を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SSWとSCの勤務日を合わせる工夫を図り、教職員とも一緒に児童・生徒の状況把握や問題点の確認をおこない、役割分担あるチーム支援が行えた。</li> <li>困難事例や、突発的な事故等の発生時の援助体制の一層の整備を図る。</li> <li>継続事業だけでなく、未然防止の視点からのチーム連携の強化を図る。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		41	特別支援教育支 援員配置事業 ・早期支援コー ディネーター	総務 学事	特別な支援が必要となる可能性がある子ども及びその保護者に対し、学校・家庭・関係機関との連絡・調整を行う早期支援コーディネーターを配置することで、早期からの情報提供・相談会実施など柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>LD等専門員や保健師等と連携し、訪問による行動観察や発達検査等から、必要な指導や支援について、保育士や担任等への実効性ある具体的助言指導を行った。</li> <li>保護者への相談会を実施し、発達障害をはじめ、様々な支援が必要な幼児・児童について、生活上必要な支援の助言や、就学先についての情報提供等を行った。</li> <li>年2回の早期支援チーム会議での情報共有を通し、3歳児健診からの幼児の実態把握・課題共有に努め、適切な就学支援に向けた具体的連携体制の構築に努める。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		42	特別支援教育支 援員配置事業 ・学習支援員等	総務 学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援員や介助員等を配置することで、対象児童生徒の安心できる教育環境を整備するとともに、担任教員の効果的な授業づくりや学級経営に専念できる環境を整備した。</li> <li>学習支援員 岸本小2名 八郷小2名 溝口小3名 岸本中2名 溝口中1名</li> <li>介助員 岸本小1名</li> <li>日本語指導 岸本中1名</li> <li>卒業まで継続的な支援が必要となることが多いことや、近年対象児童生徒が増加する傾向にあるため、学習支援員等の確保と、研修会等への参加を促進することで専門知識・技能の一層の向上を図る必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		43	学校図書整備及 び図書館司書配 置	総務 学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や子供たちの読書活動推進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>司書教諭補助職員として学校司書を全小中学校に配置し、司書教諭及び学級担任、教科主任等と連携しながら児童生徒の学習を支える学校図書館づくり、読書活動推進に努めた。</li> <li>児童生徒の学校図書館利用を多面的に見つめ、活字離れの解消につなぐ魅力ある環境づくり、読書活動の推進に努める。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
1-(4) 人にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	① 人にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	44	校務支援システムの活用	総務学事	校務支援システムを導入し、個々の教職員の持つ様々な児童生徒の情報や指導要録などを発信・受信・共有・一元管理することで、教職員の多忙感解消や教育の資質向上を図る。	・教職員の多忙感解消や教育の質向上のため、県内全小中学校に共通の業務支援システムが導入され、H30年度より運用開始となった。これによりどの学校に異動となっても同じシステムでの業務となるため、教職員の業務が軽減された。 ・導入間もないことから、運用面に課題が見受けられた、今後は、県下統一した運用のもとシステム研修等を重ね、スムーズな情報共有、業務の効率化を行い、より充実した児童生徒への指導が図られるようにする。	△	継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上	
		45	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行った。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	・通級生徒 中学生3人 ・学習指導員1名、相談員2名を配置 ・月に1回定例会を開催してSSWとの情報共有を図り、該当校との連携に努めた。 ・通所生徒の保護者の相談にも寄り添い、関係機関での連携体制の構築を図った。 ・子どもの状況を把握した上で必要な支援について長期的な視点と短期的な視点を持ちながら、関係機関の一層の連携を図り、子どもの社会的自立をめざした支援に努める。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		46	就学援助事業 ・要保護、準要保護	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	平成30年度認定:87名(58世帯) ※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(44/58)。 ※区域外就学者の申請は、町外からの越境5世帯6名。 ・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を適正に援助する。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		47	就学援助事業 ・特別支援教育 就学奨励金	総務学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	平成30年度認定:24名(24世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。 ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担の軽減を図る。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		48	学校施設整備事業	総務学事	老朽化施設や大規模な修繕が必要とされる施設について、長寿命化や安全性の向上等を図り、児童生徒の教育環境を整備する。	H30年度は、「伯耆町公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として、「伯耆町学校施設長寿命化計画」を策定し、次年度以降の改修・修繕計画を調整した。 R元年度は、八郷小学校体育館、特別教室棟外壁改修、パソコン教室エアコン取替修繕を行う。	◎	新規事業目標達成90%以上	
	49	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本小:体育館用水銀灯修繕、廊下床補修 八郷小:プール機械設備修繕、多目的ホール雨漏り庇補修 二部小:遊具修繕(4人用ブランコ) 溝口小:プールろ過機修繕、校長室雨漏り修繕 ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上		
	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備								

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 人にやさしい 学校教育環境の 整備(つづき)	② 安全安心で 質の高い教育 を支える教育 環境の整備 (つづき)	50	中学校施設修繕 事業	総務 学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</li> <li>【主な施設修繕】</li> <li>岸本中:テニスコート門扉補修、プール用給排水施設漏水修繕</li> <li>溝口中:プールろ過機修繕、外灯修繕</li> <li>・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		51	教材、教具、教育 備品及び教育施設 整備事業	総務 学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校児童生徒数に応じ、管理備品・振興備品の予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備した。</li> <li>・引き続き、必要な備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		52	学校安全体制整備 推進事業	総務 学事	小学校において、実践的な事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためにスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。</li> <li>・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		53	バス事業担当課との 連携	総務 学事	バス事業担当課と連携をとり、スクールバスによる通学を、より安全かつ充実するよう運行体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関等と協力し、スムーズなスクールバス運行体制を確保した。</li> <li>また、平成30年度は老朽化したバス2台を更新した。</li> <li>引き続きバス担当課と連携をとり、ニーズ等を踏まえた利便性の高い運行体制やバス利用の際のマナーの徹底などに取り組む。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		54	ICT環境の整備	総務 学事	ICT教育の充実を図るため、設備・ソフト等ICT環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度は、八郷小・二部小の無線LANファームウェア更新、岸本中の書画カメラ修繕等を行い、環境整備を図った。</li> <li>・引き続き、ICT教育充実のために設備等の修繕等、環境整備を図っていく。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		55	防災教育・避難訓練・ 防災関係計画の 充実	総務 学事	各学校毎に防災教育・避難訓練・避難計画作成等を行い、災害時等における児童生徒の安全確保に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校で避難訓練を実施するほか、危機管理マニュアルの策定及び浸水想定区域にある岸小・岸中・溝小については、水防法に基づく避難確保計画を策定し、緊急時に備える体制を整備した。</li> <li>・今後は、避難確保計画等に基づく防災・避難訓練などを行い、緊急時の対応能力を高めるほか、PDCAサイクルにより計画等の実効性を高めていく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		56	学校給食施設管理 運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行なった。また、施設の長寿命化・衛生環境の改善等を行う工事及び老朽化した調理設備等の更新を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から調理業務等の民間委託を実施している。</li> <li>・各種細菌等検査の実施、清掃・衛生の徹底 など。</li> <li>・調理委託事業者から報告があった調理備品等の不具合修繕。</li> <li>・給食センター施設の長寿命化・衛生環境の改善等を行う工事、調理設備の更新を行なった。</li> <li>・アレルギー対応マニュアルを策定し、3学期からアレルギー対応の範囲を拡大した。</li> <li>・現在の調理業務等の委託契約が令和元年度までであるため、安心安全な学校給食提供に支障が出ないよう、業者選定・契約事務を進める。</li> <li>・アレルギー対応については、問題点があれば改善していく。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 人にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	57	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき100円の補助を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給が図られた。補助額14,144,300円</li> <li>・令和元年度も引き続き、1食当たり100円の補助を行い、保護者負担の軽減を図っている。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		58	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会との調整会議を月1回開催</li> <li>・伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】 41.1%(前年度39.5%)</li> <li>・町内産のみで賄えた主な食材 米、白ネギ、そうめんかぼちゃ、ヤーコン、高菜 等</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		59	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、学校事務の点検・見直し等を進め、効率的かつ効果的な事務執行体制をセスビする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同実施で取り組む業務の改善と情報の見える化を重点目標として、定期的な会合を開催し、教材使用届様式の統一、簿冊管理リストの統一化に向けた改定などを行った</li> <li>・今後、導入が予定されている共同学校事務室での業務について検討していく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供	①生涯学習の推進	60	公民館改修又は空公共施設の有効活用	総務課	日光公民館の移転及び文化財保管施設整備に伴い、用途を廃止した旧日光小学校・旧日光公民館の解体撤去を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日光小学校への公民館移転及び旧鬼ミュージアムの文化財保存・展示への改修に伴い、不要となった旧日光小学校及び旧日光公民館の解体撤去を行った。また、これにより、解体した施設の借地についても返還した。</li> <li>空き公共施設の活用及び扶養公共施設の整理により、維持費等の軽減が図られた。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいつくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松栄学級(高齢者学級、受講生38名)は、10回の開催で延べ244名の参加があった。小学校や他公民館の高齢者教室との交流も行った。</li> <li>・成人講座は4回の開催で延べ100名の参加があった。</li> <li>・家庭教育支援講座は、大山開山1300年祭関連で写真展開催中の講師を招いてを開催を予定していたが、台風接近のため中止となった。</li> <li>・男性講座「楽しみ隊」は、2回の開催で延べ27名の参加があった。</li> <li>・松栄学級は、年々受講生の数が減少している。</li> <li>・アンケートを反映し、町外研修や参加してみたくなる講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。</li> <li>・成人講座及び男性講座は、土日の開催を検討する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の提供 (つづき)	①生涯学習の 推進(つづき)	61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)(つづき)	溝口 公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴寿美学園(高齢者教室) 町内外研修 計12回開催 延べ377名(昨年377名)参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。また、未就学児対象の講座や親子で活動できる教室(おもちゃ作り教室、美術教室、絵画教室等4回開催)にも取り組み好評を得た。また、布絵本づくり体験教室を月2回開催し、参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一昨年からの成人講座として、手作り教室を4回(昨年4回)開催し、延べ65名(昨年70名)の参加があった。</li> </ul> </li> <li>・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。引き続き継続して呼びかけを行っていききたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していきたい。学園生は、H29年度61人⇒H30年度63人で微増となった。</li> </ul>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多々楽学園(高齢者教室) 町内外研修 計19回開催 延べ376名参加。高齢者の学びの場を提供し、生きがいや健康づくりを図ることができた。</li> <li>・女性学級 14回 延べ192名参加。成人女性を対象とした講座等を開催し生涯学習の場を提供し、会員相互の親睦を図ることができた。</li> <li>・多々楽学園・女性学級ともに、事業への参加者が増加傾向にあり、引き続き会員等のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していきたい。</li> <li>・会員数はいづれも横ばい傾向であるが、既会員の呼びかけや、地域での呼びかけを行い、多くの地域住民に参加いただけるよう努力したい。</li> </ul>		○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日光学園(高齢者教室 受講生35名)では、町外研修(2回)・健康教室・人権学習等、計10回 延べ158名の参加があった。</li> <li>・ふるさと学級では、先進地視察(1回)を実施するとともに、男の料理教室(1回)では食改との連携により開催し、計24名の参加があった。</li> <li>・日光学園生の高齢化により、会員が減少している。</li> <li>・日光学園生以外の参加を促すため、地区住民に行事を周知する。</li> <li>・住民ニーズに合った魅力のある事業内容を検討していきたい。</li> </ul>			○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会を開催し、講演会、発表会、交流会を開催することができた。</li> <li>開催日 7月6日(金)10:00~15:00</li> <li>会場 鬼の館</li> <li>参加者数 151名(昨年172名)</li> <li>・4つの公民館の高齢者教室学級制の機構による文集「だいせん」を作成・配布した。</li> <li>作成部数 270部</li> <li>・高齢者学級の役員で構成する「合同役員会」に基づいて開催したため参加者の満足度が向上。4公民館協力して継続実施していきたい。</li> <li>・文集「だいせん」作成にあたっては、学園生に負担感となることがないように配慮する。</li> </ul>			
62	高齢者教室交流事業	溝口 公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会を開催し、講演会、発表会、交流会を開催することができた。</li> <li>開催日 7月6日(金)10:00~15:00</li> <li>会場 鬼の館</li> <li>参加者数 151名(昨年172名)</li> <li>・4つの公民館の高齢者教室学級制の機構による文集「だいせん」を作成・配布した。</li> <li>作成部数 270部</li> <li>・高齢者学級の役員で構成する「合同役員会」に基づいて開催したため参加者の満足度が向上。4公民館協力して継続実施していきたい。</li> <li>・文集「だいせん」作成にあたっては、学園生に負担感となることがないように配慮する。</li> </ul>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上				

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	①生涯学習の推進(つづき)	63	社会教育委員	生涯学習	社会教育並びに図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会として、政策提言を行った。</li> <li>・社会教育委員会の開催 2回</li> <li>・意見交換会の開催 4回</li> <li>・意見交換等を行うなど活動の活発化が図られた。今後も意見交換会等を継続し、社会教育事業の振興に努める。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		64	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談</li> <li>・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月)</li> <li>・伯耆町HPで生涯学習に関する催し物、情報提供</li> <li>・生涯学習ニュースがわかりにくいという指摘を住民からいただいたため、表示方法について検討を行い、公民館事業と同好会事業を見分けやすくすることができた。</li> <li>・四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布した。</li> <li>・八郷地区住民を対象に生涯学習の機会を提供するため、八郷小学校の協力により、令和元年度から八郷小学校を会場とした公民館出前講座を開催予定。</li> <li>・今後とも住民のご意見に耳を傾け、より伝わる広報活動に心掛ける必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		65	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。また、西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、知見を高めることができた。</li> <li>・他市町村との連携強化・共同事業の実施や情報交換など、広域による事業展開により、参加者の減少やマンネリ化などへの対応を検討する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		66	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習室と各公民館で定例会を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、業務の連携を図った。(毎月1回各公民館持ち回りで開催)</li> <li>・円滑な業務連携を行うことができた。</li> <li>・情報交換により、有効な事業を他の公民館が実施するなど、良好な連携が図れており、継続して実施していきたい。</li> <li>・小中学校を活用した公民館活動について、全小中学校で開設している「学校運営協議会」などで検討し、学校と地域が連携した取り組みを推進したい。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	②読書活動の推進	67	図書館管理事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館関係部門の連携を強化するため、図書定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員、二部・日光公民館長、文化センター職員が参加)を開催する。</li> <li>・町民の図書館への声や意見を集約し、町民に役立つ図書館にするために、図書館協議会を開催し図書運営について協議する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間12回(月1回)の図書館連絡会を開催し、図書館の活動内容を確認するとともに、改善すべき点について話し合いを持ち、より良い環境づくりを推進することができた。</li> <li>・年4回の図書館協議会を開催し、幅広い年代の代表に参加していただき、図書館の活動について話し合いの場を持ち、建設的な意見をいただくことができた。30年度は協議会委員・図書館職員・学校司書等伯耆町の図書館に関わる方で県外図書館の視察を行った。地域文化の中核としての図書館の存在や地域の方々との関わり方に触れ、今後の図書館のあり方について考えていく好機となった。</li> <li>・協議会等で図書館活用に関する幅広い意見をいただき、各年代の需要に応じて図書館を活用していただくよう努力しているが、いくつかの課題が挙げられる。図書館から離れた地域の方の利用が少なく、町民の中の不公平感が感じられること、障がい者の方の利用が少ないこと等である。その解消の一つとして元年度より出前図書館を開設する。30年度はその準備期間として取り組み、協議会でも支援や意見をいただいた。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		68	図書館振興事業	図書館	<p>・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p>	<p>(1)子育て支援事業                      ・ブックスタート事業(年12回) ・ブックセカンド事業 ・図書館にここにおはなし会、乳幼児出前お話し会・就学前児童お話し会、保育施設への本の配送                      ・伯耆町家庭教育・子育て支援チームとの連携、読み聞かせの効用・スマホ弊害等出前講演                      (2)学校支援事業                      ・団体貸出し及び本の配送 ・土曜授業                      ・お話し会・朝読書読み聞かせ ・職場体験受入れ ・ビブリオバトル導入                      (3)読書推進事業                      ・こどもの読書週間事業 ・読書グランプリ                      (4)高齢者支援事業                      ・あたまイキイキ音読教室(年20回)                      (5)広報事業                      ・図書つうしんの発行 ・HP掲載 ・伯耆町テレビ「とっておき図書館」コーナー新設                      (6)研修事業                      ・鳥取県図書館大会への協力、発表                      ・他の図書館視察 ・総合的学習と図書館活用について                      【溝口図書館】                      ・布絵本ちくちく教室の開催(20回) ・親子ふれあいコンサート                      【岸本図書館】                      ・ホットケーキミックスコンサート(読み聞かせと音楽のコラボ企画)                      ・おはなしのもりスペシャル</p> <p>・図書館らしい事業づくりとは、本づくり、おはなし会、音読教室など図書館資料を活用した事業であると考えて取り組んでいる。また子どもの読書活動の推進はそのまま子育てに直結している。子育て支援として、読み聞かせの効果やスマホによる子育ての弊害についても広く啓発していきたい。町健康対策課等と連携しながら、子育てセミナーに図書館から出かけていくなど、子育て支援にも参加していく。布絵本ちくちく教室も少しずつではあるが、本として完成し、ボランティアの協力を得て、幼児・児童・生徒や障がいのある方にやさしい本として使用していただいている。地道な歩みであっても継続することにより、図書館の特徴として息づいて、図書館の利用も進んでいる。今後とも、子どもの読書活動だけでなく、各年代の読書活動を推進していきたい。中高生の活動を取り入れたいところであるが、時間的に難しい年代であるので、中学校の職場体験等を活用し、図書館と生徒をつなぐ努力をしていきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		69	図書館協議会委員	図書館	<p>・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。</p>	<p>・図書館協議会を年4回開催し、広く地域の方の意見を聞くことができた。計画推進の後押しをしていただくことができている特別企画やテーマ展示など意見をいただくことができ、サービスの向上に役立っている。</p> <p>・開館、閉館時間のあり方など課題の焦点化が行われた。協議会の意見を参考に冬季拝観時間の短縮を試験的に行った。地域の方の意見は肯定的であったが、元年度も試行していきながら丁寧に利用者の意見を伺っていきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
2-(2)スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり	①生活の中にスポーツがある暮らしの支援	70	こども体力・運動能力等向上事業	総合スポーツ公園	<p>町内保育所の幼児を対象とした体力や運動能力の向上を目的に、各保育所に専門的な知識を有する指導員を定期的に派遣し、運動・運動遊び指導を行う。(スマイリースポーツクラブ委託事業)</p>	<p>・町内4保育所で各年5回運動教室を開催。計30回実施。</p> <p>・子どもの体力、運動機能向上に有効な事業であり、今後も継続実施する</p>	◎	新規事業目標達成90%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体の 健康づくり(つ づき)	① 生活の中に スポーツがあ る暮らしの支 援(つづき)	71	伯耆町体育団体 等補助事業 ・ジュニアクラブ 活動支援	総合 スポーツ 公園	スマイリースポーツクラブに所属するジュニアク ラブに対し補助を行い、児童生徒の健全育成、 競技力向上、指導者等の育成及び地域スポー ツの振興を図る。	ジュニアを対象にした各種活動を実施し、体力・運動能力・競技力向上や健康増進に寄 与した。 ・支援対象ジュニア団体 10種目12団体 ・運動適正テスト 1回開催 47人参加 ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		72	スポーツクラブと の連携による健康 づくり	総合ス ポーツ公 園	まめまめクラブ、元気アップ教室やアクアフィ ットネスなど町民の健康づくりを目的にした健康 対策課所管の各種事業をスマイリースポーツク ラブと連携し実施する。	町の健康づくり事業をスマイリースポーツクラブに委託し、町民の健康の維持・増進に 寄与した。 ・まめまめクラブ 332回開催 延2,207人参加 ・水中まめまめクラブ 78回開催 延784人参加 ・アクアフィットネス教室 40回開催 延246人参加 ・元気アップ教室 22回開催 延300人参加 ・小学生から高齢者まで、各年代を対象としたスポーツや健康づくり事業を受託し実施 している。今後も継続実施するため、指導者の人材確保が課題である。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		73	スポーツ推進審議 会事業	総合 スポーツ 公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町の スポーツ推進に関する事項について研究協議 を行う。	・令和元年度からのスポーツ推進計画(第2次)の策定に向け協議するため、審議会を 1回開催した。 ・次期計画策定に向けたアンケート調査を実施した。 ・第1次計画の検証が十分にできていない(令和元年度実施) ・施策実施に向けての検討及び関係団体との連携強化	△	継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
		74	スポーツ推進委員 事業	総合 スポーツ 公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図 る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	・郡、県、全国研修会等に参加し指導委員としてのスキルアップが図られた。 ・町の体育行事等運営協力のほか、「ほうきスマイリースポーツクラブ」事業の企画・運 営を行った(スポーツ推進委員3名が理事) ・研修で学んだ内容を実践できる企画の検討 ・スポーツ推進委員の認知度アップ対策 ・委員の高齢化のため新規委員の勧誘が必要	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		75	スマイリースポ ーツクラブ支援 (スマイリー独自 活動支援関係)	総合ス ポーツ公 園	スポーツを通じて地域住民の健康増進・技術体 力の向上を目的とする総合型スポーツクラブで あるスマイリースポーツクラブの運営に必要な 経費について補助金を交付し、活動を支援す る。	スマイリースポーツクラブの活動を支援することで、町民がスポーツに親しみ健康の維 持増進を図ることに寄与した。 主な独自活動 (スポーツ教室)・トライアスロン教室2回55名 ・夏休み短期水泳教室1回30名 ・スキー教室2 回45名 (スポーツ大会)・女子ソフトバレー大会2回32組 ・ナイター・グラウンドゴルフ大会1回46名 (指導者派遣)PTA行事等6回314名 ・スマイリースポーツクラブは自主運営が求められる一般社団法人であり、自主財源確 保に向けて検討が必要	△	継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
② いつでも気軽にスポーツができる環境づくり		76	町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園や溝口中学校夜間グラウンド施設等の管理運営を行う。また、管理運営に必要な備品・機材を整備する。	各施設利用者数(前年比較)中学校部活利用は除く ・社会体育施設(町体育館・町武道館・町グラウンド) 31,423人(3,171人増) ・総合スポーツ公園 30,204人(5,378人減) 社会体育施設は利用者数が増加した。スポーツ公園は天候不順・猛暑の影響で利用者数が減少した。  ・平成30年7月、すこやか村施設は廃止となった。 ・スポーツ公園にゲートボール場を整備した。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		77	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等を行う。	(主な施設修繕) ・スポーツ公園屋外放送設備修繕 ・スポーツ公園多目的グラウンドフェンス修繕 ・溝口武道館屋外灯修繕 ・岸本体育館ステージ天井修繕 ・公園管理トラクター修繕 (主な業務委託) ・芝生等更新作業委託及び野球場内野整備 ・海洋センター消火器取替業務 ・岸本体育館・武道館消火器取替業務(改修工事) ・スポーツ公園野球場改修設計業務  ・野球場本部棟の雨漏り対策、分電盤浸水による漏電対策のため改修工事実施(令和元年度)	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		78	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブに所属する各体育部に対し補助を行い、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	旧体育協会に所属していた各種競技団体の活動を支援し、競技力の向上や普及を図り、活動を支援した。 ・郡体、県民スポレク等各種競技大会へ参加した ・町主催スポーツ大会において審判員等主管団体として大会運営補助にあたった。 ・支援対象アスリートクラブ団体 7種目7団体  ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		79	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。	・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供することができた。 ・町内の団体・個人について、スポーツ公園グラウンドゴルフ場、ゲートボール場の使用料を無料とし、施設の有効利用促進を図った。  ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートを行う。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		80	教育委員会表彰事業	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	実施状況:平成31年3月16日(土)開催 会場:鬼の館 受賞者:芸術文化の部 17名 スポーツの部 89名 12団体  当日6割程度のお席があった。児童・生徒以外の一般の功労者の把握が課題である。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり(つづき)	③ スポーツでつながり広がる交流・連携の推進	81	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	総合スポーツ公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年8月19日に24回大会開催 大会エントリー者数は230名で昨年より22名減であった。大きな事故やトラブルはなく大会を開催できた。</li> <li>猛暑対策や施設・コースに対する適正規模の大会となるよう定員240名とした。そのためリレーの部は廃止した。</li> <li>トライアスロン教室を毎年開催しており、未経験者を中心にバイク操作等の指導を行っている。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>町民運動会岸本地区大会 10月7日に開催する予定であったが、台風接近により中止となった。実行委員会を組織し、住民参画による運営に努め、また、中学生ボランティアの協力を呼びかけ16名の申込があった。</li> <li>アンケートにより、競技役員から出された課題を検討し、今後の企画・実施に反映させる。</li> </ul>	△ 継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
2-(2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり(つづき)	③ スポーツでつながり広がる交流・連携の推進(つづき)	82	地区運動会・その他イベント開催事業	岸本公民館	町民総スポーツの中心的な事業として運動会を開催し、子どもから高齢者までの参加により地域の連帯感、親睦を深めた。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民運動会溝口地区大会 10月14日に開催する予定であったが、雨のため中止となった。溝口地区の町民のスポーツの中心的な事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与するように行った。実行委員会を組織し、中学生ボランティアの協力を呼びかけた。前前年度の課題を実行委員会にて協議し、第3日曜日開催とし、課題解消・競技内容等の改善に努めた。</li> <li>H29年度、H30年度と2年連続で雨天中止となった。今後も競技の見直しを進めていくとともに、子どもから高齢者までみんなが楽しめ、親睦が図れる運動会にしていく必要がある。</li> </ul>	△ 継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
				二部公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>町民運動会二部地区大会 10月7日実施予定であったが、荒天のため中止。二部地区の町民のスポーツの中心的な事業として計画したが、荒天のため中止した。</li> <li>二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催による健康ウォーキング・グランドゴルフ大会、カローリング大会を開催し、健康増進・交流に寄与することができた。</li> <li>町民運動会をはじめ、二部地区活性化推進機構や地域住民との連携した事業が定着してきており、継続した連携事業を実施していきたい。</li> <li>町民運動会については、地域住民の年代に偏りがあり、種目内容の見直しを行い、多くの地域住民の参加を図りたい。</li> </ul>	△ 継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
2-(2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり(つづき)	③ スポーツでつながり広がる交流・連携の推進(つづき)			日光公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>町民運動会日光地区大会 10月14日開催 日光地区の町民スポーツの中心的な事業として開催し、健康増進・親睦・地域の連帯感を深める交流活動に寄与することができた。実行委員会を組織して中学生ボランティアの協力を得るなど住民の協力により実施した。</li> <li>悪天候のため体育館で実施。</li> <li>伯耆町駅伝大会 10月8日開催 44チームの参加があり、日光女性会の豚汁や参加賞のりんごで日光の自然の恵みをPRした。また、交通整理員の派遣を各集落で対応してもらった。</li> <li>グラウンドゴルフ大会 6月10日開催予定だったが、作業や葬儀等で参加集落が少なく中止とした。</li> <li>集落の作業と重複しないようスポーツ行事の日程調整をしていきたい。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		83	生涯スポーツ振興事業(スマイリーへのスポーツ大会運営委託関係)	総合スポーツ公園	一般町民を対象としたスポーツ大会を町内スポーツ団体等と連携し開催することで、各種スポーツの振興、町民の健康づくり及び町民の交流・親睦に寄与する。運営は、スマイリースポーツクラブに委託。	一般町民を対象とした町主催スポーツ大会を7事業を計画したが、雨天・猛暑のため5事業の開催となった。 ・4月バドミントン大会26チーム206名 ・5月ソフトテニス大会(雨天中止) ・8月野球大会(猛暑中止) ・10月駅伝大会40チーム220人 ・11月バレーボール大会24チーム336名 ・1月バドミントン選手権大会43名 ・3月卓球大会19チーム108人  ・岸本地域は集落、溝口地域は組単位で参加募集しているが、参加者が減少傾向である。	△	継続事業ほぼ達成70%以上又は新規事業達成不十分50%以上
		84	生涯スポーツ振興事業(スマイリーへのジュニアスポーツ大会運営委託関係)	総合スポーツ公園	町内の小学生を対象にしたスポーツ大会を開催し、スポーツに親しむ基盤づくり、体力・運動能力の向上及び小学生同士の親睦・交流を図った。	小学生を対象としたスポーツ大会・教室を開催した。 ・5月スナックゴルフ大会17名 ・7月B&Gチャレンジスポーツ教室35名 ・9月学童水泳記録会46名 ・2月B&Gジュニアバドミントン大会37名  ・今後も継続して大会や教室を開催する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		85	伯耆町駅伝	総合スポーツ公園	旧溝口町から実施されている1チーム5名による駅伝競走大会である。地元の絶大な協力をいただきながら、役員や参加者が一体となって運営されている、地域に密着した大会として開催。	・体育の日に開催し、日光地区の協力による汁の振る舞いも好評だった。参加40チーム220名 ・開催場所の変更に向けた検討。 ・アップ・ダウンがあり小学校中・低学年には厳しいコースである。また、駐車場が不足する。 ・平成30年に近隣の道路で交通死亡事故が発生したため、黒坂警察署から十分な安全管理を求められている。 ・日光地区の風物詩的行事であり、日光地区の合意がある限りは現状維持が妥当と考える。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		86	スポーツ優秀選手支援事業	総合スポーツ公園	町内の特にレベルの高いスポーツ優秀選手に対する支援や顕彰を行うことで、意欲向上等による一層の活躍とスポーツに対する町民の関心を高める。	・全国大会等に出場する町内の団体、個人に対し経費の一部を補助し支援 17件 ・全国大会等に出場する町内の団体、個人の看板を作成し、役場前に掲示 23件  ・補助要項の見直しを検討する。選手の競技レベルに合わせた補助内容とする。	◎	新規事業目標達成90%以上
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成	① 町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備	87	中学校区の児童生徒を語る会(No17事業の再掲)	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	・中学校区ごとに、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中校区:各学期2回、溝口中校区:各学期1回  ・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		88	学校運営協議会運営事業(No5事業の再掲)	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。 平成30年度は、各学校運営協議会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。	岸本中・二部小をコミュニティ・スクールに指定し、町内全小中学校の指定を完了した。これに伴い、CSディレクター1名を配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業との連携・調整・情報共有などに取り組む伯耆町ネットワーク会議を立ち上げ、全町的かつ一体的に「地域とともにある学校づくり」を推進する体制を整備した。  「地域とともにある学校づくり」の考えが子どもの有無に関係なく浸透するような、町全体への周知・啓発に努め、地域住民の参画を拡大する。また、保護者や地域住民の声を一層学校経営に反映させ、子どもの豊かな育ちの創造に努める。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成(つづき)	① 町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備(つづき)	89	青少年育成伯耆町民会議運営支援	生涯学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会(2回)の開催</li> <li>青少年育成伯耆町民大会の開催(1月27日、参加者91人)</li> <li>町民あいさつ運動の実施(4回)</li> <li>マナーアップさわやか運動への参加(2回)</li> <li>夏休み町内巡視の実施(6回)</li> <li>少年を守る店啓発事業(38店舗)</li> <li>コンビニ成人雑誌陳列状況調査</li> <li>「家庭の日」標語の募集(応募数241点)</li> <li>家庭教育講演会、研修会の開催</li> <li>通学合宿(10月、4・5・6年生参加者29人)</li> <li>高校生ユースセミナーでのボランティア、交流事業等</li> </ul> <p>・家庭の日(毎月第3日曜)の存在が町民に浸透していない。事業の見直し、改善が必要。</p> <p>・通学合宿のスタッフ確保が課題。鳥取大学・島根大学に協力依頼を行う等、新たな受け入れ先の確保が必要。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		90	PTA協議会補助金(No1事業の再掲)	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	<p>例年は、町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、30年度は町の予算の範囲内で開催できたこと、ほかに補助対象となる事業が実施されなかったため補助金交付は無かった。</p> <p>今後も継続した支援を行うとともに、PTA活動の活発化に向けて協力をする。</p>	△	継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
		91	高校生ユースセミナー	生涯学習	高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくりを行い、地域で一緒に活躍する高校生の育成を図る。	<p>町内の各種イベントへのボランティア参加や高校生同士の交流会を開催した。 (高校生参加者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岸本きないや祭 5人</li> <li>西部地区町村社会教育協議会研究大会ボランティア 6人</li> <li>溝口公民館まつり 5人</li> </ul> <p>・活動のリーダーとなる人物を発掘・育成し、活動の充実を図る。</p> <p>・継続的に事業を行えるよう、新規参加者の確保について、工夫が必要。</p> <p>・中学生にもボランティアでの参加を募る。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		92	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	<p>と き:8月15日/新成人出席者83人 出席率78.3%</p> <p>と ころ: 鬼の館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記念品贈呈・記念講演・記念撮影</li> </ul> <p>・前年度の課題を受け、HPや防災無線での呼びかけ改善を行い、対象者漏れを防いだ。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		93	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	<p>と き:10月14日(日)～20日(土) と ころ: 青雲寮</p> <p>対象学年:4～6年生</p> <p>参加者数:29人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を4～6年生にすることにより、縦の繋がりが出来、良い意味で緊張感が生まれた。</li> </ul> <p>と ころ: 生活指導員の人材発掘</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成(つづき)	②家庭教育の充実	94	家庭学習ハンドブック配布及び活用事業 (No3事業の再掲)	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について解説した「家庭教育ハンドブック」を、小学校新入学生に配布する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えたHP掲載の3冊(前期編・中期編・後記編)の紹介も行い、活用を促した。</li> <li>・学年懇談、学級懇談の中で、話題として取り上げる内容に関連するページを印刷して配布した。</li> <li>・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		95	放課後子ども教室 (No9事業の再掲)	生涯学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。	実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・金) 91回実施</li> <li>・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 90回実施</li> </ul> 主な活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力づくり、学習、読み聞かせ、実験等</li> <li>・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等</li> <li>・一体型の工夫</li> <li>・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		96	学校安全体制整備推進事業 (No52事業の再掲)	総務学事	小学校において、実践的な事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためにスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。</li> <li>・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		97	家庭教育支援事業 (No2事業の再掲)	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、小学校の保護者を対象にした家庭教育・子育て講演会、研修会を支援(二部保、溝口保、ふたば保、八郷小)</li> <li>・子育て講演会(11/24)「自分へのエール」(長谷川理恵氏)の開催 参加者51名</li> <li>・家庭教育講演会(1/27)「今を生きる子どもたちへ伝えたい～親として 大人として地域として・・・」(熊丸みつ子氏)の開催 参加者91名</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(4) 人権尊重の まちづくりの 推進	① 人権教育・人 権啓発の推 進	98	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	<p>人権問題の学習啓発事業の企画運営及び、各種学習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりセミナー(11回参加者405人)</li> <li>・人権教育プログラムの作成(社会教育編)</li> <li>・人権啓発標語募集事業の実施(応募数837点)</li> <li>・各種研修会・大会への派遣(5か所参加者43人)</li> </ul> <p>ひまわりセミナーは、個別具体的な人権課題に取り組み、明るいまちづくり懇談会は、普遍的な人権課題に取り組み。そのつながりを大切にして、人権啓発を進めていく。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		99	人権教育・啓発推進協議会補助金	人権政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	<p>(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種人権週間広報啓発活動</li> <li>・明るいまちづくり懇談会開催事業(41集落463人)</li> <li>・明るいまちづくり懇談会事前研修会(参加者146人)</li> <li>・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数837点)</li> </ul> <p>(2)研修会及び講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和問題実践研究交流会(参加者206人)</li> </ul> <p>(3)資料の刊行及び啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業)</li> <li>・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸)</li> </ul> <p>(4)関係機関団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究校の指定と授業研究会の開催</li> <li>・各種研修会・大会への派遣(8か所参加者79人)</li> <li>・各種団体の活動支援</li> </ul> <p>(5)その他目的達成に必要なと認めた事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「呼ぶ会」実行委員会の活動支援</li> </ul> <p>・明るいまちづくり懇談会は、元年度から方針を見直し、取り組みの改善を行う。実践研究交流会に、町全体の取り組みを出しあうために、新しい啓発方法の定着に努める。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		100	文化センター管理運営事業	文化センター	人権問題の解消と啓発に向けた事業の実施や地域住民の自立と、よりよい生活を図るため文化センターを核として各種人権関係事業に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区学習会(小中:5~3月、月2回) 小学生(4人) 25回(H29年度から不定期にたくしクラブも参加) 延べ216人(うち、たくしクラブ140人)、中学生(1人) 16回 延べ16人</li> <li>・相談事業:随時。</li> <li>・各種教室・講座:4教室2講座 延べ58回 562人参加。</li> <li>・ミニデイサービス事業:ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食等を取り入れ、憩いの場として定着し、地域活動への参加につながり仲間が増えた。延べ12回218人参加。</li> <li>・百円ランチ:12回 167人。</li> <li>・交流研修事業:町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。研修会12回 参加者382人。</li> <li>・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。</li> </ul> <p>・教室等参加者が固定化しているため、体験・実践講座を平日以外に開催するとともに、地区以外の方へも声掛けし交流し、文化センター活動の充実を図りたい。</p> <p>・文化センターでの小中学生の人権学習について、溝小やたくしクラブの参加もあり、なかま学習・交流を深めることができたが、地域の歴史等を教えることについて、まだ課題(寝た子を起こす的な考え等)があり、引き続き啓発が必要である。</p> <p>・環境面の地区改善に関する相談が多かった。相談業務の拡充を図りたい。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(4) 人権尊重の まちづくりの 推進(つづ)	① 人権教育・人 権啓発の推 進(つづき)	101	男女共同参画推 進事業	人権 政策	家庭並びに社会生活における活動等への男女 共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推 進計画を基に、各種事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から所管課が総務課になったが、人権課題の一つとして、引き続き、広 報、啓発を行った。</li> <li>・今後も、総務課と連携して併発活動を継続・展開する必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%
		102	町営住宅修繕事 業	人権 政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、 住環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。特に平成30年度 は、一部の棟の外壁目地補修・トイレ壁修繕等を行った。</li> <li>・町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の創 造	① 文化財の保 存と活用	103	埋蔵文化財調査 事業	生涯 学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文 化財の有無や性格を確認し、事業者との調整 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福島城発掘調査(福島地区砂防堰堤建設工事に伴う文化財調査)</li> <li>・H30.5.8～H31.3.30実施</li> <li>・調査面積 1,353㎡</li> <li>・調査結果</li> <li>平安時代末～鎌倉時代初の鉄関連炉跡、戦国時代の福島城の遺構(炉、柵列等)を 検出し、記録した。</li> <li>また、報告書を作製するため、遺物(コテナ約120箱)の整理作業、自然科学分析を 実施した。本年度は、鉄関連炉の重要性が判明したため、鉄関連遺物を再度点検、整理 し、報告書作成にむけた作業を実施した。</li> <li>・遺物を見学した関係者から、鉄関連遺物に関しては、従来、山陰では発見されていな い朝鮮半島の影響を受けた遺物が出土していることが指摘され、この遺跡は、アジア 的視点をもった識者らの実見、検討会が必要と指摘された。本年度は、次年度この検 討会を実施すべく鉄遺物を再整理した。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		104	文化財保護事業	生涯 学習	本町にある指定文化財等の維持管理及び地域 の景観的な変遷を記録するための定点撮影を 行う。また、出土品の展示や歴史文化に関する 講演会等を開催し、郷土の歴史学習の機運を 醸成する。 国指定文化財 1件 県指定文化財 1件 町指定文化財 12件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県委嘱の文化財保護指導員による巡視</li> <li>・文化財周辺の草刈り・除草等の維持管理</li> <li>・矢田貝家の古文書等整理のプロジェクトを支援</li> <li>・文化講演会及び町内文化財展示</li> <li>(1) 1/27 (内容:民具について 参加者23名)</li> <li>(2) 3/24 (内容:中世城郭について:講演会参加者38名)</li> <li>※本年度も、講演会と文化財展示をセットで開催した。(1)では、町所有の民具 の一部を、(2)では、町内中世城郭の資料を展示した。</li> <li>・本年度は町所有の民具の移動に伴い、民具の廃棄、一般への公開・譲渡を実施し た。この一般への公開・譲渡の時、多くの参加者があった。(1)はこれに連動させて実施 したつもりであったが、講演参加者は、意外に少なかった。一方、(2)は予想外に参加者 が多かった。両事業ともに住民への文化財の周知を目的としたものであるが、アピール の仕方は個別にもっと検討する必要があると考えられる。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		105	文化財整理・保存 施設管理事業	生涯 学習	空き施設である旧鬼ミュージアムを文化財整 理・保存施設として再整備するとともに、民俗資 料及び文化財の常設展示を行い、貴重な資料・ 文化財を後世に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧鬼ミュージアムの1Fを民具の保管・展示に、2Fを文化財整理及び埋蔵文化財の展 示に、3Fを文化財の保管が可能な施設に改修した。</li> <li>これに伴い、旧日光公民館に保管していた民具を移動し、一部を廃棄した。移動した民 具は約1000点、廃棄した民具は391点である。</li> <li>また、廃棄民具は廃棄前、平成30年10月21日に最終公開を実施し、希望者に譲渡し た。この時譲渡した民具は131点である。</li> <li>・廃棄民具の最終公開には、多くに参加者がおり、この種の文化財についての関心の 高さがうかがわれた。今後はこのような傾向に応じた施策が必要である。移動先の施 設での展示は、次年度に持ち越しとなったが、このような傾向を反映させる必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業				評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要		主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間の創造 (つづき)	② 地域芸術文 化の振興	106	地区文化祭・まつり開催事業	岸本 公民館	公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<p>岸本公民館きないや祭として11月17・18日に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から公民館の展示の多くを岸小体育館に移したことによってできたスペースで、発表会と体験コーナーを開催した。(発表会は3団体、体験コーナーは4団体の参加があった。)</li> <li>・「ぜんざい」の無料提供は好評だった。「ジビエ料理」は行列ができるほど好評だった。</li> <li>・岸小体育館の入場者数が前年度比112%増だった。(1,157名)</li> </ul> <p>・公民館で活動をしている教室・同好会に、引き続き発表や体験コーナーの参加を呼びかける。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口 公民館		<p>・溝口公民館祭 3月17・21日開催。実行委員会を組織し、住民参画による運営に務めた。運営面で、中学生ボランティアの協力があり助かっている。例年作品展示中心のまつりであったが、同好会や各教室の高齢化により展示作品も少なくなってきたため、発表の場を設けた。出演サークルが一丸となって発表へ取り組み、頑張りを多くの方へ賞賛してもらえる場となったことは良かった。</p> <p>H28年度から、作品の有無にかかわらず、全部の同好会に実行委員会に入ってもらい、会場設営・撤去に実行委員に声掛けをし、参加していただくことができた。</p> <p>・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていきたい。</p> <p>・中学生ボランティアには自主性を尊重するとともに、負担感とならないよう配慮し、参加した中学生の社会性の意識向上・醸成に繋がるよう努めたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				二部 公民館		<p>・第35回たたらまつりを 2月23日～25日開催 延べ818名来館。地区住民・公民館教室生の作品展示、農産物販売、特別展示「日本の文化 和装」等を行い、交流・親睦を図った。</p> <p>・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」にまつりができた。</p> <p>・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				日光 公民館		<p>・第39回日光ふるさとまつり 3月9日～10日開催 来場者延べ344名 地区住民・各種同好会の作品展示・体験コーナー・農産物の即売・日光そば・餅つき等の催しの他に義方公民館の協力を得て海産物の即売を行ない、来場者や地区住民相互の交流が図られた。新規に図書の持ち帰りと古民具を展示するレトロ展を開催した。</p> <p>・実行委員会では地区住民の意見を十分に取り入れて事業内容を検討し、新たな展示等にも取り組むことができた。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の創造 (つづき)	② 地域芸術文化の 振興(つづき)	107	写真美術館管理 運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介 や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真家 植田正治及びその作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めてもらう取り組みができた。</li> <li>・年間説明団体 33団体 約950人</li> <li>・入館者は25,732人(過去5年間の平均入館者数 23,756人)</li> <li>・企画展3回、地元TV放送、その他雑誌掲載</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も美術館についての説明を積極的に行い、来館者の満足度を高めるような取り組みを行う。</li> <li>・インバウンドの影響で外国人来館者が増加しており、職員の言語教育が必要。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		108	写真美術館改修 事業	美術館	施設の老朽化や損傷等について、更新・改修 等を行うことで、展示環境や来館者の利便性・ 観覧環境の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の長寿命化、省エネ化を図るため、老朽化した照明設備の改修工事に向けた、 基本設計業務を実施した。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーにより色、演出、調光方法等が異なるため、限られた予算の中で当館にマッ チした効果的な照明設備の選定をする必要がある。</li> </ul>	◎	新規事業目標 達成90%以上
		109	鬼の館運営事業	生涯 学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機 会の提供、各種団体の研修や町内サークル等 の発表の場として文化団体の支援・利用促進 及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築後20年以上経過し、特に空調機器の故障が目立った。逐次修繕を行った。</li> <li>・町民音楽祭、文化展等を実施し、文化団体や個人の発表の場を提供するとともに、住 民が文化に直接触れる機会を提供した。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一層の施設利用促進を図る必要がある。</li> <li>・今後の課題として、利用実態に即した施設の改修計画の検討する必要がある。</li> </ul>	△	継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
		110	地域文化活動の 支援	生涯 学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸 術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業 を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の体制整備と、各種事業を実施し た。</li> <li>・第14回伯耆町民音楽祭 8/27(日) 鬼の館 来場者300人</li> <li>・第14回伯耆町文化展 11月10日(土)～11日(日) 鬼の館 来場者266人</li> <li>・くろぼくコンサートの支援 自主運営団体の鬼の館ホワイエでのコンサートを支援した。</li> <li>・文化展を引き続き鬼の館で行うなど、鬼の館を文化の拠点として利用することが出来 た。</li> <li>・文化振興会の組織の見直し。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		111	文化活動団体支 援事業	生涯 学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行 ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上 等活動を支援した。</li> <li>・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の安定的な運営方法について、助言を行った。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の創造 (つづき)	② 地域芸術文化の 振興(つづき)	112	文化振興会補助 事業	生涯 学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数51人(平成31年3月現在)	<p>各専門部会それぞれで活動を行える体制づくりをし、住民自ら各種事業を企画運営する体制を整えた。</p> <p>○総務部会 ・文化講演会(参加者26人) ・視察研修(参加者18人) ・会報14号発行(全戸配布)</p> <p>○美術部会 ・文化展(来場者266人) ○音楽部会 ・町民音楽祭(来場者300人) 新・HOUKI MUSIC FEST2018～ジャズ～(荒天のため中止) ○歴史文化部会 ・孝靈天皇の鬼退治伝説「楽々福神社」を訪ねて(参加者22名)</p> <p>・各部員が自発的に活動するような体制づくり、意識改革が必要。 現在は部会により、偏りがある状況。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		113	教育委員会表彰 事業 (No80事業の再 掲)	生涯 学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	<p>実施状況:平成31年3月16日(土)開催 会場:鬼の館 受賞者:芸術文化の部 17名 スポーツの部 89名 12団体</p> <p>当日6割程度の出席があった。児童・生徒以外の一般の功労者の把握が課題である。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	③ 芸術文化活 動を通じた体 験・交流の促 進	114	社会教育主事等 の育成 (No65事業の再 掲)	生涯 学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。また、西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。	<p>・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、知見を高めることができた。</p> <p>・他市町村との連携強化・共同事業の実施や情報交換など、広域による事業展開により、参加者の減少やマンネリ化などへの対応を検討する。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		115	読谷村教育交流	生涯 学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	○隔年開催のため今年度は実施なし	FALSE
		116	写真芸術・文化振 興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催する。	<p>・財団の事業としてフォトコンテスト、ワークショップを行った。フォトスクールについても8講座 188名が参加した。町内小中学校に加えて、町内外の団体、公民館サークルからの参加もあった。美術館職員の支援によりスムーズな運営となり、また、事業実施にあたって指導、助言を行った。</p> <p>・大山開山1300年祭の記念イベントとして、地元写真家の柄木孝志写真展を約1か月間開催し、約5,000人の来場者があった。</p> <p>・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとも参加者のニーズや運営の現状を把握するとともに、写真愛好者の底辺拡大のため宣伝活動を引き続き行っていく。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

教育行政全般に関するご意見・ご感想	少ない職員で、これだけの事業を行われていることに敬意を表します。いつもありがとうございます。
	「こんな活動をしている。」を知らない人が多いかもしれません。活発な情報発信は今後も重要ですね。ボランティアの確保も大変です。こちらも引き続き課題ですね。こんな素晴らしい取り組みをしている町であると内外に向けてもっとPRしたいですね。
	スポーツに関わる多くの事業が展開されているが、「スポーツを文化」としてとらえる視点、「する」「見る」「支える」「知る」とする観点で、先人の活躍、町民のスポーツの歴史(国体参加状況、世界に向けた活躍まで位)の顕彰、その展示と資料の収集等が必要と考える。(図書館、公民館の活用)
	施策方針2-(2)で、このごろはとでもパルプラスオンの活動を目にするのですが、全くかわりはないのでしょうか？
	校区内には岸本小学校の学校便りが配られてくるので「岸本中学校の学校便り」も配ってほしいと思います。
	昨年から中学生は部活が無い日があったり、5月の連休のころには昼に帰ってきて午後4時までは家の外に出られないという日があります。そういう日を使って、中学生に公のことに参加させたり、何か講演のような事を通して育成することができないだろうかと思えます。少し前に、保小中のスクラム教育のことを聞いた時、中学生がリーダーになって町内清掃を小学生や保育園児とできたらいいのと思ったことがあり、中学校の先生に聞いたところ、総合のような時間も中学生は少ないと言われました。
	昨年の成人式でも話をされた「斎藤凱さん」、1年間一緒に町の消防団で活動されていた方々からは、なぜ町の職員として町で働いてもらうことができなかったのかと惜しむ声がありました。現在、県外の公務員として仕事しておられるのを聞くとなおさらです。ご本人の希望があったのかもしれませんが、貴重な人材を逃した感があります。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	PTA協議会補助金	現状をみるに、不要だと考えます。 PTA活動への補助金は良いと思うが、今後、PTAの保護者の出席率はどうなるのか？
2	家庭教育支援事業	全体とは言えませんが、保護者の方の根強いニーズを感じます。 子供の時から、ルールを守る事は、大切なことで保護者だけではなく、子供にも学ばせては
3	家庭学習ハンドブック配布及び活用事業	学校としても、学年・学級懇談会等で活用促進を図ります。 継続事業 子どもの自立に向けた学校・家庭・地域とのつながり、子育ての指針となっている。今後も引き続き、継続した啓発を行うことが大切。 ハンドブックの配布も必要だと思います。失くす人もあるので、HP上にPDF等でアップしておいてもよいと思います。
4	伯耆町ネットワーク会議事業	教育施策決定において、総合教育会議と双璧をなすような位置づけになるとよいと思います。 継続事業 子ども達の健全育成に向けた保小中一貫したテーマを設定し取り組む事業であり、各家庭の実態に沿った具体的実践ができる。 今年度の取り組みのテーマ、キーワードは、わかりやすくよかったと思います。
5	学校運営協議会運営事業	学校ごとの取組を充実させ、存在意義を高める段になっていると思います。 学校運営協議会が、学校の中核として保護者・地域・教職員がつながり、学校教育目標を共有し推進できる。 各部署あるいは全体で目的を持って前進していると思います。 デレクター1名で全小中の運営ができるのか。 メンバーの選定が難しい

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
6	地域学校協働本部事業	継続事業
		学校支援コーディネーターの体制が町全体でしっかり整えられ、児童の学習支援や学校の環境整備に協力いただけ、大変ありがたい。
		コーディネーターおよびボランティアの方に心から感謝しています。
7	子供の体験活動事業(公民館等事業)	定着してきたこともあり、参加者数の増加が顕著なので、ニーズは高いと思います。
		冬みつけ、清流まつり等町中では体験できない行事に、子ども達も喜んで参加していて、大変良かった。
		素晴らしい活動で、子供達も楽しみなようです。人気の活動は回数を増やすことも検討してみたいか？
		地域住民はもとより、世代間の交流をもっと求め、全校生徒が夏休みに参加できる企画を。地域性を活かした取り組みは大変良いと思う。町外との交流など、大いにすべきだと思う。
		夏休みのお楽しみでは、人気の活動は定員を超えるものもあると聞いています。場合によっては定員の増加も検討してみてください。
8	子供の体験活動事業(学校事業)	職場体験の実施について、大変助かっています。
		学校教育では、出来ない事を学ぶことを、地域住民の方の協力を得て交流を図っていくことは良いと思う。
9	放課後子ども教室	様々な事情を抱えた子どもたちの居場所づくりとして、有意義な事業だと思います。退職教員の方に活躍していただけるよう、退職者名簿の整備や賃金面での改善を行うなど工夫が必要ではないでしょうか。
		溝口小の場合、1年から6年まで、岸本小1年～4年講師(世話する)体制の充実
10	伯耆町教育振興会事業 ・地域教育	取組方針を固めていくことが必要だと考えます。
		町内の地域の特色を教材化してあり、よくまとまっている。年月が経ち改定していく箇所の検討が必要ではないか。
		学校側が積極的に地域教育に取り組めるよう、学校側が主体となって活動したほうが効果的ではないでしょうか。
11	伯耆町教育振興事業 ・保小中一貫教育	安定した運営ができています。
		保小中の交流により、中学校で目指すねらいを共通理解し、実践することができる。
12	小中一貫学力、人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	学校にとって、研究推進のために、必要不可欠だと捉えています。
		小中のスムーズな接続が図られるよう体験授業や交流が行われ、中学校の姿が児童にイメージしやすく、身近に感じることができる。
		外部講師を招くだけでなく、外部の研修会への参加費等への支出も認めていただきたいと思っています。
13	スクラム教育事業(保・小・中の児童・生徒交流活動)	岸本中学校区では、近年、充実してきていると思います。
		一貫性の教育が、まとめが完成とのことで、内容が分かればなお良い。
		各保育所と各々の小学校(例えば二部保育所と二部小学校)の”交流”という認識があいまいのような気がします。伯耆町内でバラバラ。地区・地域で温度差がある。保小の互いが”交流”と認識しているのか？文章で伝わるかわかりませんが…。溝口中学校区保小交流14回:本当ですか？
14	中学校教員の小学校への乗入授業	職員体制によって一定しない面はありますが、可能な範囲で取り組んでいきます。
		児童が学習の中で、専門的な教科指導を実感し、中学校での学習をイメージしやすい。特に音楽の授業時間数を増やしていただければ。
		乗り入れの効果はいろいろな面であるので、今後もできる範囲で実施していきたいと思っています。
15	就学支援検討会	年を追うごとに、会の運営が円滑になっており、良い傾向だと思います。
		大切だと思います。ただ、親の同意もあるので、理解を得るのが大変だと感じています。
		特別扱いをするのではなく、見守りながら環境を整えて、支援事業を継続してほしい。
		中学校区で、個に応じた支援体制があり、相談しやすい。継続支援の体制の中で、児童の成長を支えていくことが大切。
		早い時期から情報を共有し、支援の方策を検討できることはよいと思います。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
16	伯耆町教育振興会 事業・就学支援	必要感のある研修等ができていますと思います。
17	中学校区の児童生徒を語る会	ケースが多い中、短時間でいかにして中身の濃い会にするか、検討を要すると思います。 中学校区で連携し、問題行動や悩みをかかえた児童対応・改善につながる大切な場である この問題が一番大切なことだと思う。開催回数を増やして情報交換が必要。
18	学力向上推進計画 策定と進捗管理	年を追うごとに定着してきてはいますが、前年踏襲を打破するの必要を感じます。
19	標準学力調査及び 分析の実施	年間2回の実施、特に2回目を踏まえた指導改善をいかに行うか、学校に課されたものは 大きいと思います。
20	小中一貫学力、人間 力定着促進事業 ・学力補充関係事業	中学校においては、中学校職員による指導が基本となると思います。 学習意欲の喚起、学力補充を図る上で、外部指導者や中学生ボランティアの協力は大変あ りがたい。 中学生ボランティアの人間力向上にもつながる。是非力を入れていただきたい。
21	体力向上計画策定 と進捗管理	種目を絞って、重点的な改善を図りたいと思います。 教科体育だけではなく、学校教育・家庭教育とで、一体となって取り組む必要があると感じ る 全体的に子どもの体力が劣っているが、町内の子供の体力、能力がどれくらいなのか？
22	伯耆町教育振興会 事業 ・人権教育	いわゆる「ガイジ」発言等、先手をうった指導を心がけていきたいと思います。 継続事業 学校での同和問題学習の取扱いについて危惧しています。教職員の同和問題に対する認 識等について調査を行い、教職員が必要な知識や技能を身に着ける機会を設けることが必 要ではないでしょうか。 町内の地域の特色を教材化してあり、よくまとまっている。年月が経ち改定していく箇所の 検討が必要ではないか。人権教育の推進・連携・啓発活動を行う大切な役割を担っている。 文化センターの役割と学習会の在り方について、今後も検討してってください。
24	外国青年招致事業	ALTの人間性を考慮して、職員との関係づくりに配慮していきたいと思います。 継続事業 優秀なALTが配置されることを期待します。 ALTのピーターさんが大変人懐っこくて、子どもたちばかりでなく一般町民の方にも評判が 良かった。やはり人選びですかね。
25	栄養教諭による食指 導	学級を個別にまわって指導をいただけることに感謝しています。 継続事業
26	伯耆町教育振興会 事業・学校保健	近年、食に関することに課題を特化されていますが、時には、より広い視野から課題をとら えることも必要かと思えます。
27	運動部活動推進事 業	今後とも継続を強くお願いします。 生徒の体力、技能向上のため継続 教員の働き方改革から、学校部活(日本の誇るべき教育)を継続・発展させるために、外部 指導者による学校施設を活用した活動を進めていただきたい。 県事業の活用だけでなく、町独自の取り組みも試み、我が町の誇る「スポーツ」を育てて いただきたい。外部指導者の要請と活用を推進していただきたい。 中学校における部活動の在り方の見直しは急務です。より一層社会体育との連携は必要 になってくると思います。
28	特別非常勤講師配 置事業	より一層の充実を望みます。 教科学習やクラブ活動で、専門的な知識や技能の習得ができ、児童の学ぶ意欲を高めてい くことができる。 継続事業
29	青雲寮管理運営事 業	すこやか村がなくなった今、活用方法の枠組みを広げてほしい所。 たくさんの生徒に施設を使用していただき、安全な施設に努めていただき、継続。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
30	小中一貫学力、人間力定着促進事業 ・各校研修会	学校にとって、研究推進のために、必要不可欠だと捉えています。
		継続事業
31	小中一貫学力、人間力定着促進事業 ・教委研修会	今後も喫緊の課題について研修をお願いします。
		継続事業
32	伯耆町教育振興会 事業・研究大会	予算の性質上、テーマが限定されることは、しかたないかもしれませんが、時には別のテーマを望む声も少なからずありますので、検討をお願いします。
33	伯耆町教育振興会 事業・授業研究会	この項目は必要なのでしょうか。30あたりと重複していると思います。
34	伯耆町教育振興会 事業・生徒指導	効果的な研修がなされていると思います。
		継続は必要だが、休み中にトラブル等あった件についての対応が必要。
36	学校要請訪問、学校 随時訪問	指導助言を要請するかどうかは別として、可能な限り、授業研究会を参観願います。
37	学校計画訪問、行事 訪問、講師訪問、本 務者訪問	可能な限り、参観をお願いします。
38	少人数学級実施事 業	県教委の動向が不明な面がありますが、今後とも継続を強く希望します。
		継続事業
		今後も引き続き実施していただくよう望みます。
39	スクールソーシャル ワーカー活用事業	ここぞというときに、有益な情報をいただくことができ、感謝しております。
40	スクールカウンセ ラーとの連携	今後とも継続をお願いします。
41	特別支援教育支援 員配置事業 ・早期支援コーデ ィネーター	ここぞというときに、有益な情報をいただくことができ、感謝しております。
		より一層の充実を望みます。
42	特別支援教育支援 員配置事業 ・学習支援員等	今後とも継続をお願いします。
		より一層の充実を望みます。
43	学校図書整備及び 図書館司書配置	(「学校司書配置」かと思います。)今後とも継続をお願いします。
		学校図書館に、図書システムが導入されていないことが大きな課題。早急に電子化を求め る。
		より一層の充実を望みます。
44	校務支援システムの 活用	これなくしては、業務が滞る段まできています。ただし、機能を使い切っているわけではない ので、よりよい活用方法の研修は必要かと思えます。
		システム運用のための人材の配置が必要だと思えます。専門的な知識を持つ人がいると助 かります。
45	教育支援センター運 営事業	保護者への対応もしていただけることに感謝しています。
46	就学援助事業 ・要保護、準要保護	継続事業
47	就学援助事業 ・特別支援教育就学 奨励金	継続事業
48	学校施設整備事業	今後の改修等の見通しが立ったことで、安心できた面があります。
		校内無線LANシステムの拡充をお願いしたい。
		費用がかかるが、施設の安全を第一に考えて整備すべき。
49	小学校施設修繕事 業	安全第一なので今後とも継続
		体育館1階校舎トイレの結露対策をお願いしたい。
50	中学校施設修繕事 業	迅速な対応をいただき感謝しています。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
51	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	年度の早い段階で執行するように努力していきます。 生徒用机・いすの整備計画を早急に立てていただきたい。
52	学校安全体制整備推進事業	今後とも継続をお願いします。
53	バス事業担当課との連携	スクールバスの部活動利用について、方針に則って活用をしていきます。
54	ICT環境の整備	国の方針に近づくように整備をお願いします。 No48と同様、端末20台で動画配信サービスを同時利用できる回線容量を整備していただきたい。(可能であればSINET接続も視野に)
55	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	年何回か避難訓練は必要だと思う。継続。
56	学校給食施設管理運営事業	異物混入ゼロを目指して、日々の取組をお願いします。 地域で生産された食材の活用と、その「メニュー」を家庭と共有していただきたい。家庭でも家族が共に味わう料理レシピとして…。 継続
57	学校給食費補助事業	保護者からも、継続を希望する声を少なからず聞いています。 継続
58	食材供給連絡協議会との連携	地産地消率の向上が著しく、今後とも継続をお願いします。
59	伯耆町教育振興会事業・学校事務	メンバーが変わっても円滑な業務が行えていることに取組の確かさを感じます。
60	公民館改修又は空公共施設の有効活用	不要となった施設は、後世のためにも解体すべきだと考えます。
61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	各公民館とも地域のニーズをすいあげ、工夫した取組をされていると思います。 子どもからお年寄りまで多くの年代を対象に、各館が地域性を出しながら様々な事業を実施されていることに感謝します。できれば、30～50代の働き盛りの方を対象とした講座もあるといいですね。学びなおしの機会があればなおいいですね。 生涯学習支援事業として様々な取り組みがあり、町民の方が多く参加されていますが、八郷地区の人の参加が少ないと感じます。是非、交通の便、場の提供などの配慮をしていただき、八郷地区の人が一人でも多く参加できるような工夫をお願いします。
62	高齢者教室交流事業	文集としてのニーズがあるのか検討されるべきだと思います。
63	社会教育委員	教育委員との意見交換等をするのもよい刺激となると思います。
64	生涯学習まちづくり推進事業	八郷小学校を活用されたことが評価できます。
67	図書館管理事業	県立図書館とのオンライン化の整備をお願いしたい。
68	図書館振興事業	近年、図書館の活動が活性化していると目に見えて感じます。今後ともチャレンジをお願いします。 出前図書館の取り組みは評価できる。職員の負担にならないように続けて欲しい。 「あたまイキイキ音読教室」は、回を重ねるごとに音読力が向上してきています。内容もかなりレベルUPしてきてると思います。是非続けたい活動です。
69	図書館協議会委員	図書館利用者数は年々増加している。地域住民へのサービス、利用向上の為にどんなことをすればよいのか是非意見を吸い上げていただきたい。利用したくてもできない人の為の工夫を今後充実していただきたい。 図書館職員の勤務時間は前から気になっていましたが、このたび時間短縮が導入されて良かった。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
70	こども体力・運動能力等向上事業	今後とも継続をお願いします。
		保母だけではなく、体育・スポーツの専門家による指導は、その後の幼児の運動活動に多くの影響を与えると考える。幼児教育を担う指導者への講習も含めた活動に期待する。
		スマイリーの指導者1名と聞くと、一保育所当たり年間7～8回運動能力の向上には回数が少ないのでは。指導者を増やす必要があるのでは。
71	伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援	中学校クラブ活動をスマイリー所属にすることは困難ですか?専門競技指導者をコーチとしてお願いしている様ですが。
		子供が減少する中、スポーツに楽しみ、運動ができる環境と指導者への育成のためには良いと思う。
72	スポーツクラブとの連携による健康づくり	個々でなく、組織的に行えたらと考える。
		これだけの開催数をこなすには人数が少ないと思う。指導者の確保が必要。
73	スポーツ推進審議会事業	推進計画がなされているが、大きな成果が出ているのか?
		計画の実効性の点検は、次のステップに必要であり、的確な判断のためにも、調査・資料の分析を行う必要がある。
74	スポーツ推進委員事業	町内体育行事に協力し、継続事業
		スポーツ推進委員、体育協会全役員、総合型スポーツクラブ運営者が一体となった活動が求められるが、広く意見を聴取する仕組みが必要。
75	スマイリースポーツクラブ支援 (スマイリー独自活動支援関係)	自主運営に向けて、検討をお願いします。
		継続事業
		スマイリースポーツクラブ(総合型スポーツクラブ)の活用は、これからの町民のスポーツ活動に大きな影響を与えると考える。町行政の支援と共に、発展を期待する。地方での総合型スポーツクラブの経営は、行政の支援無くして成立しない状況にある。
		各集落を訪問して、高齢者に関わる取組ができると、生涯スポーツとして実効が上がると思われる。その方策を考えていただきたい。
76	町内体育施設管理運営事業	部活動で、町の施設が恒常的に利用できる環境は、大変恵まれていると感謝しています。
		継続事業
77	体育施設改修事業	たくさんの方が利用されているので、安全な総合スポーツ公園の整備。
78	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	継続事業
		スポ少、部活動、一般のスポーツ指導者の連携が図られるよう希望します。
79	各種スポーツ団体補助事業	高齢者の健康増進のため、一部の補助は継続
80	教育委員会表彰事業	良い取り組みであるとは思いますが、事務局担当者の業務負担が気になります。
		受賞対象者のリストアップとその基準を明確化し、価値ある表彰事業としていただきたい。
		児童、保護者の励みになっている。スポーツ関係だけでなく芸術・研究分野の表彰も充実しており有り難い。
		スポーツの部の表彰される小中学生が多いと思う。表彰の見直しを考えてみては。
81	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	定員の見直しをされたことを評価します。今後とも、主催者としての負担を軽減する大会設計が必要かと思えます。
		大会参加費だけで運営は難しい。また、町の大きなイベントなので補助の助成は必要だと思う。
		参加者のお客様感が強く感じられる。参加者も運営に関わり、協力しあえる雰囲気があるといいと思います。大会当日がもう少し短時間になると体に優しいと思います。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
82	地区運動会・その他イベント開催事業	住民の多くが、「運動会が中止でよかった」と発言しているのを聞くにつけ、どれだけのニーズがあるのか疑問を感じます。
		年1回町民が集まって開催される運動会です。日程が決められており、雨で中止になるのは残念ですが、親睦を深める運動なので大いに継続
		運動会は、雨天中止を望む声を多く聞くようになりました。午前実施というのもいい案だったと思います。集落対抗の競争ばかりではなく、スポーツ大会のように、すごいプレイを見られるとか、運動だけど競争ではないとか、工夫できるといいですね。難しいですけど。
		地区毎のイベント開催と共に、日常的なスポーツ活動が評価できる仕組みが必要。荒天での大会が不開催であったときにも日常的な活動を評価する方策。荒天で不開催のとき、それに代わる大会の開催(小規模でも)
		各地区とも年一回の運動会を楽しみにしていると思います。特に日光地区は雨の場合、体育館で開催しているので、すばらしいと思います。
83	生涯スポーツ振興事業(スマイリーへのスポーツ大会運営委託関係)	同じような顔ぶれですが、楽しみにされている方を見ると、ニーズはあると感じます。
		運営に当たっては、たくさんの方の協力が必要
84	生涯スポーツ振興事業(スマイリーへのジュニアスポーツ大会運営委託関係)	大会運営よりも、スポーツへの動機づけ、競技者底辺の拡大に力を入れるのがよいと思います。
		継続事業
85	伯耆町駅伝	伯耆町駅伝大会は、例年参加チームが多くて好評です。このまま続けて欲しい行事だと思いますし、地区の人々も楽しみにしているのではないかと思います。
		たくさん参加はありそうだが、安全面での対策を考える必要あり
		日光女性会の汁が好評、おいしい。
86	スポーツ優秀選手支援事業	大変助かっているという声を聞いています。今後とも継続をお願いします。
		優秀な選手には継続
89	青少年育成伯耆町民会議運営支援	継続事業としてほしいが、いろいろ問題点があると思う。改善が必要。
91	高校生ユースセミナー	細々とでも、有志の活動の場を確保することが必要だと思います。
		他の高校生との交流は、良いことだと思う。継続
		高校のない町では高校生を集めるのが大変だと思います。そんな中で事業を実施し、子どもたちの活動を支援しておられることに敬意を表します。活動の中に、将来の自分の成人式を計画してもらおうと、次につながるかもしれません。
92	成人式	「成人」という名称を考慮して、20歳で集まることは今後とも継続するのがよいと思います。
		継続事業
		成人が18歳となる上で、伯耆町の成人式の見直しが必要ですね。
93	通学合宿事業	子どもに負担がかかっているのではないのでしょうか。参加したいという気持ちがあるのはすばらしいが、行事が多い中、一週間は長いのではないかと？ボランティア・日程・内容を見直す必要があるのではないかと？特に今年は国民の休日を挟んでいるのに実行するのでしょうか？
		継続することは良いが、人材確保し、呼びかけが必要。
		通学合宿事業は、とても意義深い事業だと思いますが、地域の方にもっと活躍していただくために、地域学校協働本部との合同事業にしてみたいかがでしょうか。
98	人権教育推進事業	連続と続いてきたひまわりセミナーの火は消してはならないと思います。
		ひまわりセミナーなどで様々な講師を招いて人権学習の機会を設けていただき、感謝しています。話題の方など有名な方をお呼びいただいて、町内に居ながら学習できるのいいと思います。
99	人権教育・啓発推進協議会補助金	実践研究交流会参加者が増加したことを評価します。取組次第だと感じます。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
100	文化センター管理運営事業	100円ランチに何回か参加しましたが、地域の人たちといろいろと話をしながら昼食を食べて楽しい時間が過ごせました。
103	埋蔵文化財調査事業	放映されているかもしれませんが、遺跡・遺物について、CATVと協力して、その重要性を周知する番組作りを期待します。
105	文化財整理・保存施設管理事業	旧鬼ミュージアムの施設名について、児童・生徒にも浸透しやすい名称を検討願います。
106	地区文化祭・まつり開催事業	各公民館が特色を出しており、来場者も多いと感じることができます。
		それぞれ活かした公民館開催がなされていると思う。地区の公民館へ出向くことはできるが、他の公民館へ行くことがなかなかできないので、展示作品の交換など、どうか。
		地区公民館まつりは、それぞれ出品作品が多くて、見ていても楽しくなります。大変有意義な行事だと思います。
107	写真美術館管理運営事業	身近な所に、素晴らしい美術館があるが、地元の入館者数は年間どれ位入っておられるか？
109	鬼の館運営事業	一般の者でも活用しやすい設備改修をお願いします。
		維持管理は継続。駐車場がグランド奥の方にできないのか？
		鬼の館改修計画には、駐車場整備を是非含めてほしいと思います。何をするにしても駐車場の必要性は高いと思います。
		・なるべく玄関と同じ高さの広い駐車場があったらと思います。 ・音楽祭の時に思うのですが、かぐ外側、カンタンな建物でよいのでリハーサルしたり食事をとる所があればいいなど(昨年は合唱団の一体さんか？弁当を食べるためにホワイエを占領しておられたので・・・) ・せめて、入り口付近、車から降りてもなるべく雨がよけられるようにしてもらえたらいいなと思います。鬼面太鼓の方が練習に使用されているようなので意見を聞かれたら良いかもと思います。
		発表会には必要な施設、維持管理予算確保してください。
		施設・設備の整備計画を早急に立てていただきたい。
110	地域文化活動の支援	継続事業
111	文化活動団体支援事業	各太鼓振興会には、いろいろな場面で華を添えてもらっていると感じます。
		継続事業
112	文化振興会補助事業	これからも大切なものを、がんばって残していきたいですね。
		様々な事業を住民自ら企画し実施しておられ、町の魅力発信にもなっていると思います。子どもたちが自ら企画運営できるものもあるといいですね。
115	読谷村教育交流	希望者を集めることに苦慮されている現実があります。人数を絞って、海外に派遣するというソフトアップも考えられるのではないのでしょうか。
		継続が可能であれば
		沖縄との交流良いと思います。
116	写真芸術・文化振興事業	継続事業
		フォトスクールは、伯耆町ならではのよい取組だと思います。希望者を募って、子ども写真教室といった展開も考えられるのではないのでしょうか。

## ●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)	評価	評価選択肢
教育委員会の活動	1	(1)教育委員会の会議の運営状況	教育委員会会議開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則等に基づき、定例会12回、臨時会2回を開催し、案件数102件(報告31件、議事31件、協議18件、その他27件)を審議した。</li> <li>・会は適切に開催され、審議がなされたと思う。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		教育委員会会議の運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する)</li> <li>・議案等資料を1週間前に送付することで、事前に案件の内容把握を行うことで会議の効率化に努めた。また、H28から始めた委員協議についても継続し、最新の教育事情等について意見交換を行い見識及び共通理解を深めた。</li> <li>・事前に資料等いただいております。当日の会について、意見等まとめられていると思います。</li> <li>・事前に資料を送付していただき、内容を理解し、会議に参加できてよかった。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	2	(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	広報活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の自己点検と評価等をホームページ等で掲載し、住民への情報提供を行う。</li> <li>・会議開催について町防災無線にて周知した。また教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページにて掲載し、情報提供を行った。</li> <li>・今後も情報提供に努めていただきたい。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		議事録の開示・公開の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開示請求があれば、議事録の開示を行う。</li> <li>・議事録の概要を町ホームページで公開しているが、開示等請求があれば開示を行う。H30は請求なし。</li> <li>・情報開示はこれからも必要だと思う。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	3	(3)事務局の管理運営	教育委員会の事務局管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等いただいた。(議会提出案件、標準学力学習調査結果、全国学力・学習状況調査結果など)</li> <li>・事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。</li> <li>・今後も努力していきます。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)	評価	評価選択肢
(4)町長部局との連携  (5)教育委員の自己研鑽	4	教育委員会と町長部局との連携	・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。	・H30は、総合教育会議を1回開催し、次年度の予算要求、教育事情等に関して協議・検討を行った。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	5	学校訪問	・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。	・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また学校行事等へ参加した。(運動会、体育祭、学習発表会、文化祭、卒業式・入学式など) ・各学校の実態がわかり、気づいた点についても発言の機会をいただき感謝している。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	6	所管施設の訪問	・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。	・H30は、二部公民館、岸本公民館で定例会を開催し、併せて当該施設の事業進捗状況等を報告した。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	7	研修会等参加	・教育委員を対象として各種研修会等に参加し、教育委員としての知見を広める。	・H30は、全国市町村教員委員会研究協議会(第2ブロック)、鳥取県市町村教育委員研究協議会に参加するほか、町教育振興会や人権・同和問題実践研究交流会など各種大会に参加し、教育委員としてのスキル向上に努めた。  仕事上、参加しにくい事業もあるが、幅広い分野へ知見を広めたいと思う。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上